

非防水コネクタ  
取扱説明書

＜対象＞

- ・ 0.64Ⅱ シリーズ
- ・ 1.5 シリーズ
- ・ 2.3Ⅱ シリーズ
- ・ 4.8 シリーズ
- ・ 8.0 シリーズ
- ・ 9.5 シリーズ

このたびは弊社製品をご使用頂き誠にありがとうございます。

- 本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用下さい。  
お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保管して下さい。
- 製品のご使用に際しては、貴社の製造、品質条件に適合し、かつ  
要求の特性及び性能を満足していることをご確認頂きますよう  
お願い致します。
- 本内容についてご不明点等があった場合は、弊社営業担当に  
ご連絡頂くか、下記のURLよりお問合せお願い致します。  
お問合せ先 : <https://connector.yazaki-group/>
- 本取扱説明書は、発行先に対し連絡無しに改訂する場合がありますので  
ご了承下さい。

#### 安全上の注意事項について

この取扱説明書への表示では、お使いになる人や他の人への危害、  
財産への損害を未然に防止するために、お守り頂くことを下図のように  
説明しています。内容をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。



注意

注意事項が記述してあります

上記、表示内容を守らないことにより生じた危害や損害については、  
保証を致しかねますのでご了承下さい。

# 目次

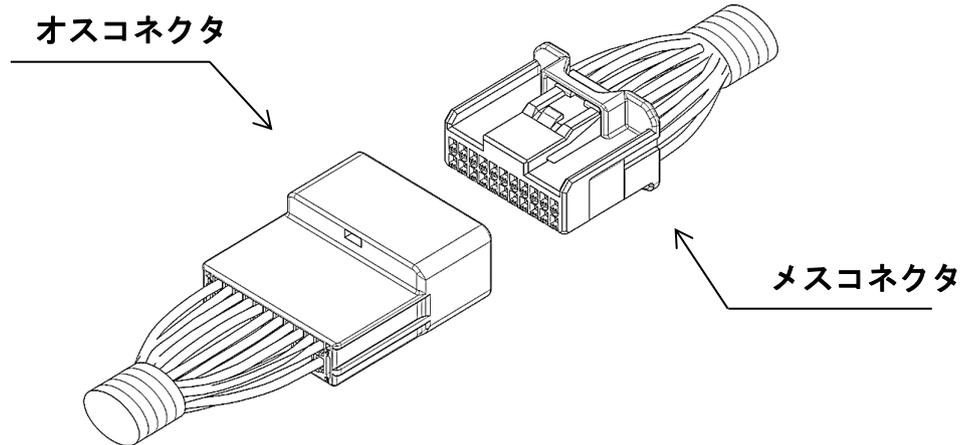
1. 適用範囲	・ ・ ・ ・	P. 3
2. 部品名称と機能	・ ・ ・ ・	P. 4 ~ P. 9
3. 製品の受入れ、運搬、保管	・ ・ ・ ・	P. 10
4. ワイヤーハーネス製造作業（二重係止タイプ）	・ ・ ・ ・	P. 11 ~ P. 20
5. ワイヤーハーネス製造作業（HLCタイプ）	・ ・ ・ ・	P. 21 ~ P. 24
6. ワイヤーハーネスの管理、梱包、開封	・ ・ ・ ・	P. 25 ~ P. 26
7. コネクタのかん合・離脱	・ ・ ・ ・	P. 27 ~ P. 30
8. ブラケットへの挿入・離脱	・ ・ ・ ・	P. 31 ~ P. 32
9. コネクタの車両搭載	・ ・ ・ ・	P. 33

## 別紙 品番一覧表

0. 64Ⅱシリーズ	・ ・ ・ ・	別紙 1
1. 5シリーズ	・ ・ ・ ・	別紙 2
2. 3Ⅱシリーズ	・ ・ ・ ・	別紙 3 ~ 4
4. 8シリーズ	・ ・ ・ ・	別紙 5
8. 0シリーズ	・ ・ ・ ・	別紙 6
9. 5シリーズ	・ ・ ・ ・	別紙 7
HYBRIDシリーズ	・ ・ ・ ・	別紙 8

# 1. 適用範囲

本取扱説明書は自動車の低圧回路に使用する0.64Ⅱ、1.5、2.3Ⅱ、4.8、8.0、9.5（※1）二重係止コネクタ（※2）及び、2.3Ⅱ、4.8、8.0、9.5 HLCコネクタ（※3）について適用する。  
端子の取扱方法については、取扱説明書「YPES-15-2030（対象：0.64Ⅱ～8.0）YPES-15-2130（対象：9.5）」を参照して下さい。



## <補足>

- ※1 0.64Ⅱ、1.5、2.3Ⅱ、4.8、8.0、9.5 コネクタ
  - ・オス端子のタブ幅(mm)違いにより、0.64Ⅱ、1.5、2.3Ⅱ、4.8、8.0、9.5コネクタと呼ぶ。
- ※2 二重係止コネクタ
  - ・スペーサにて端子の半挿入検知を行う事が出来るコネクタ。
- ※3 HLCコネクタ
  - ・Housing Lance Check の略である。
  - ・ランスにて端子の半挿入検知を行う事が出来るコネクタ。

## 作業全体を通しての注意事項



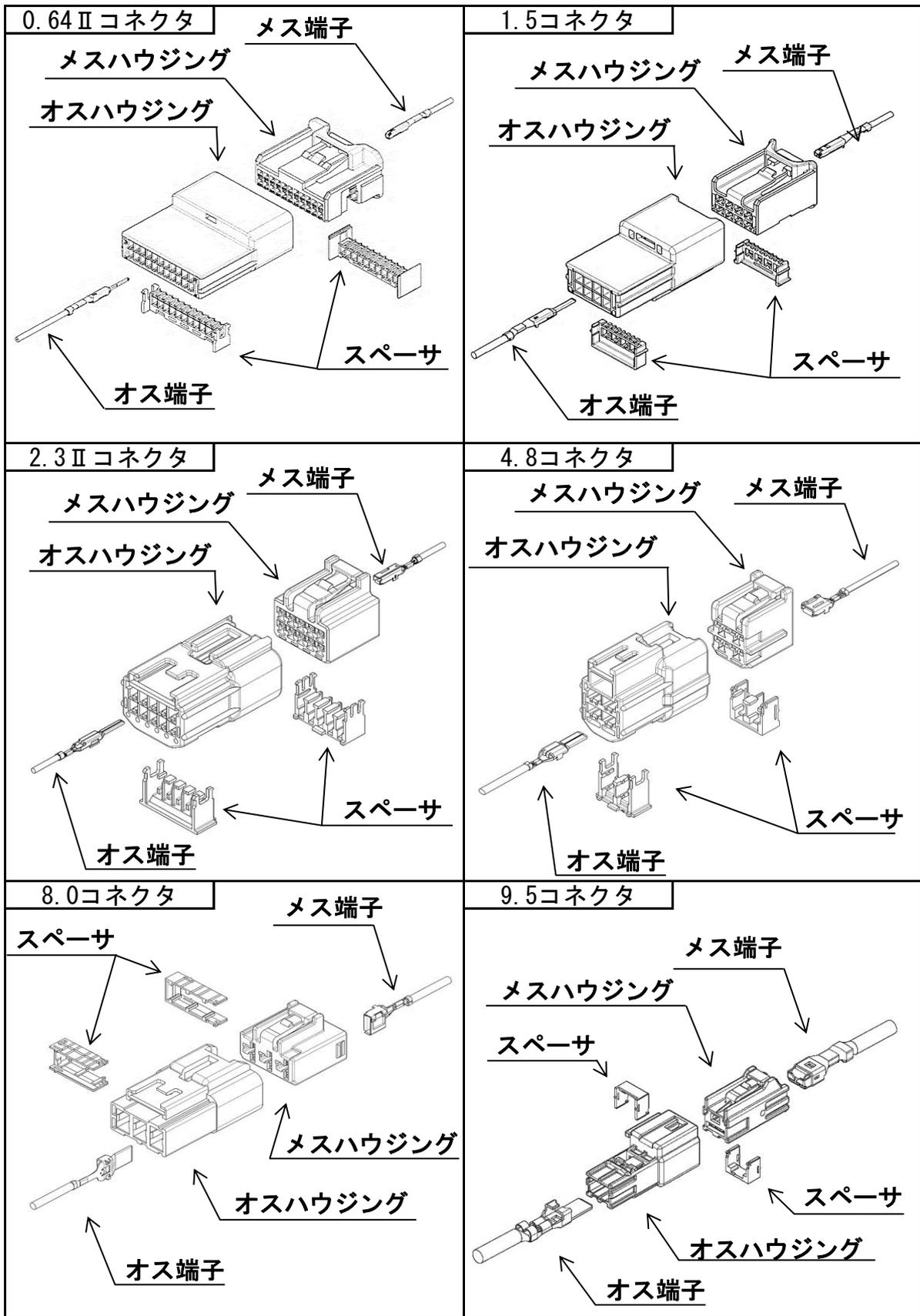
- ・水をかけないで下さい。
- ・製品を運搬、保管する際は水、砂、埃、土、油、塩分、薬品等から保護して下さい。
- ・製品は正しい組合せで使用して下さい。
- ・破損、変形等の問題が発生した製品は使用せず新しい製品と交換して下さい。

### <破損・変形の発生要因一例>

使用するコネクタの逆端末にて製品に熱や振動等が加わる加工  
— 抵抗溶接、超音波溶着、レーザー溶着等

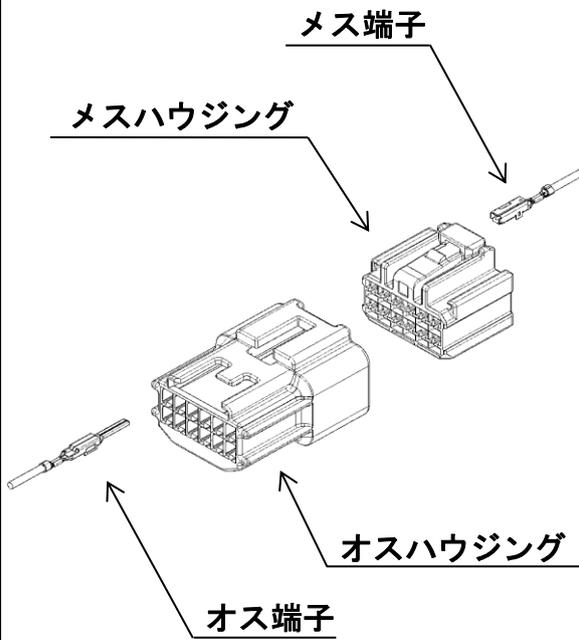
## 2. 部品名称と機能

### 2-1. 部品名称 (二重係止タイプ)

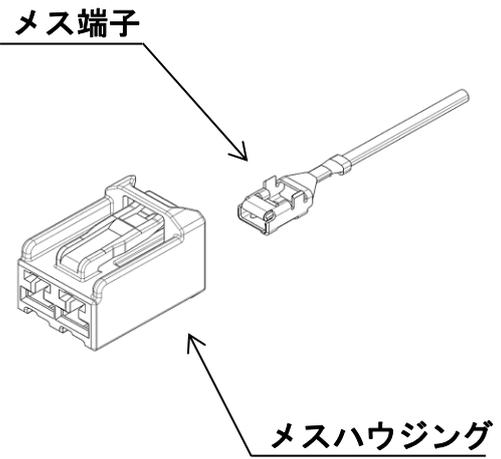


## 2-2. 部品名称 (HLCタイプ)

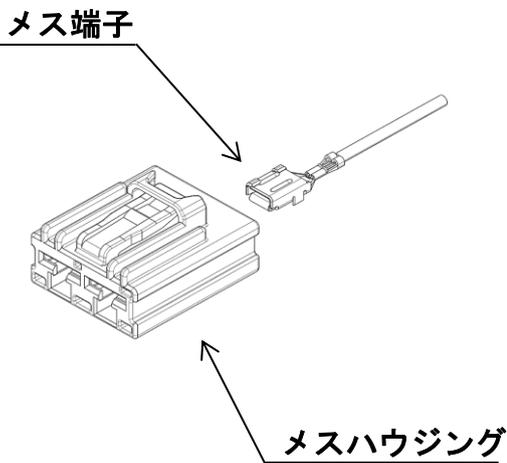
2.3Ⅱコネクタ



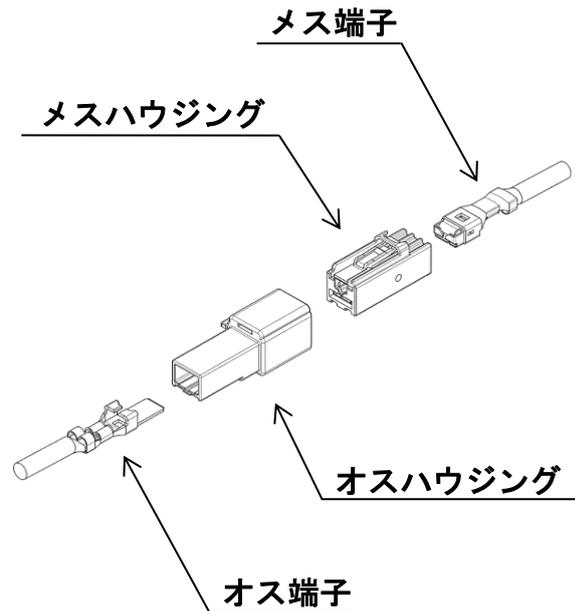
4.8コネクタ



8.0コネクタ



9.5コネクタ



## 2-3. 部品名称と機能

### 2-3-1. オスハウジング

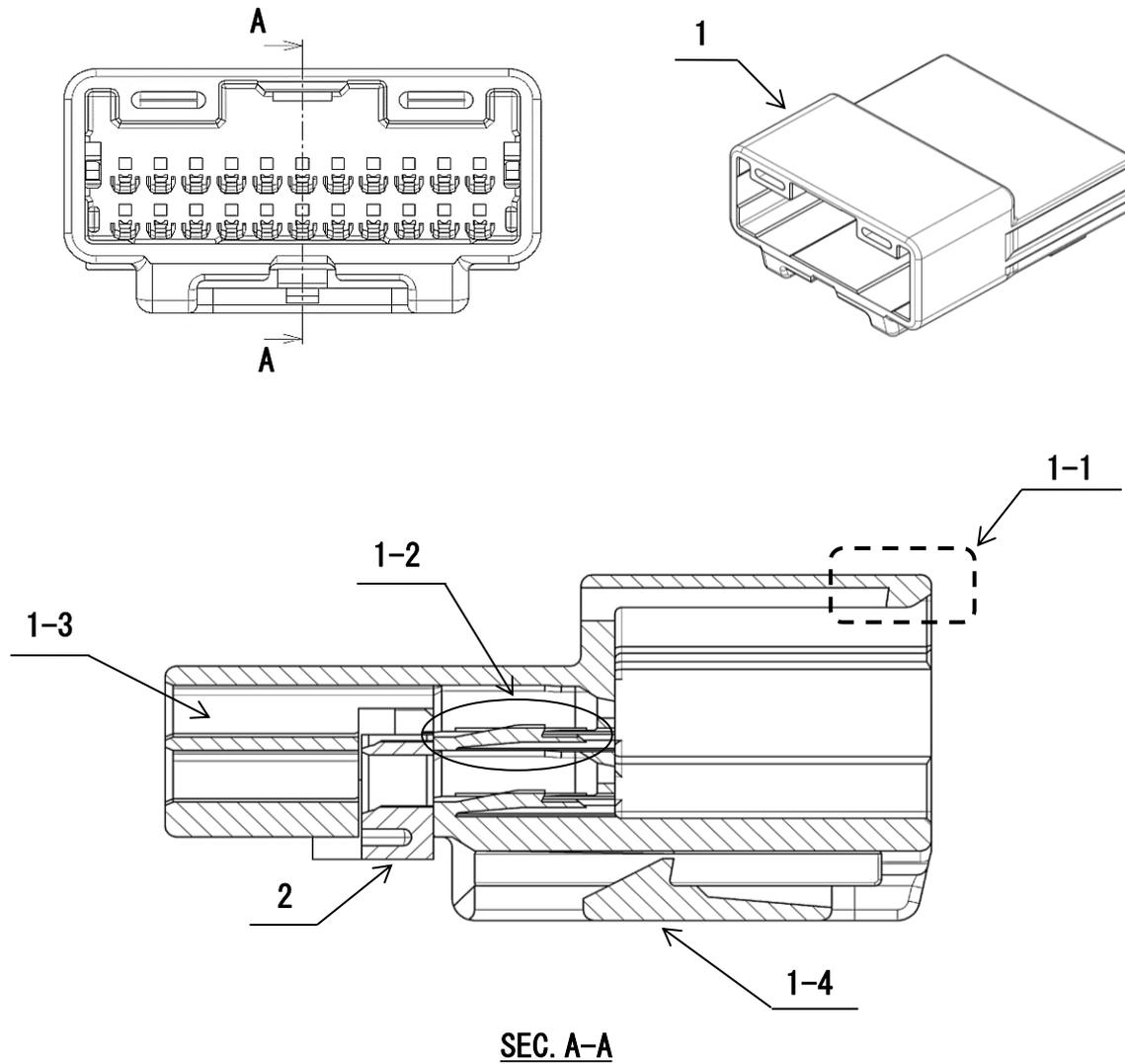


表-1

No.	名称	機能	
1	1-1	ロック (種類はP8参照)	メスハウジングとの保持
	1-2	ランス	オス端子の保持
	1-3	キャビティ	オス端子の収容部
	1-4	カセット	外部との固定
2	スペーサ (種類はP9参照)	オス端子の半挿入検知及び保持	

## 2-3-2. メスハウジング

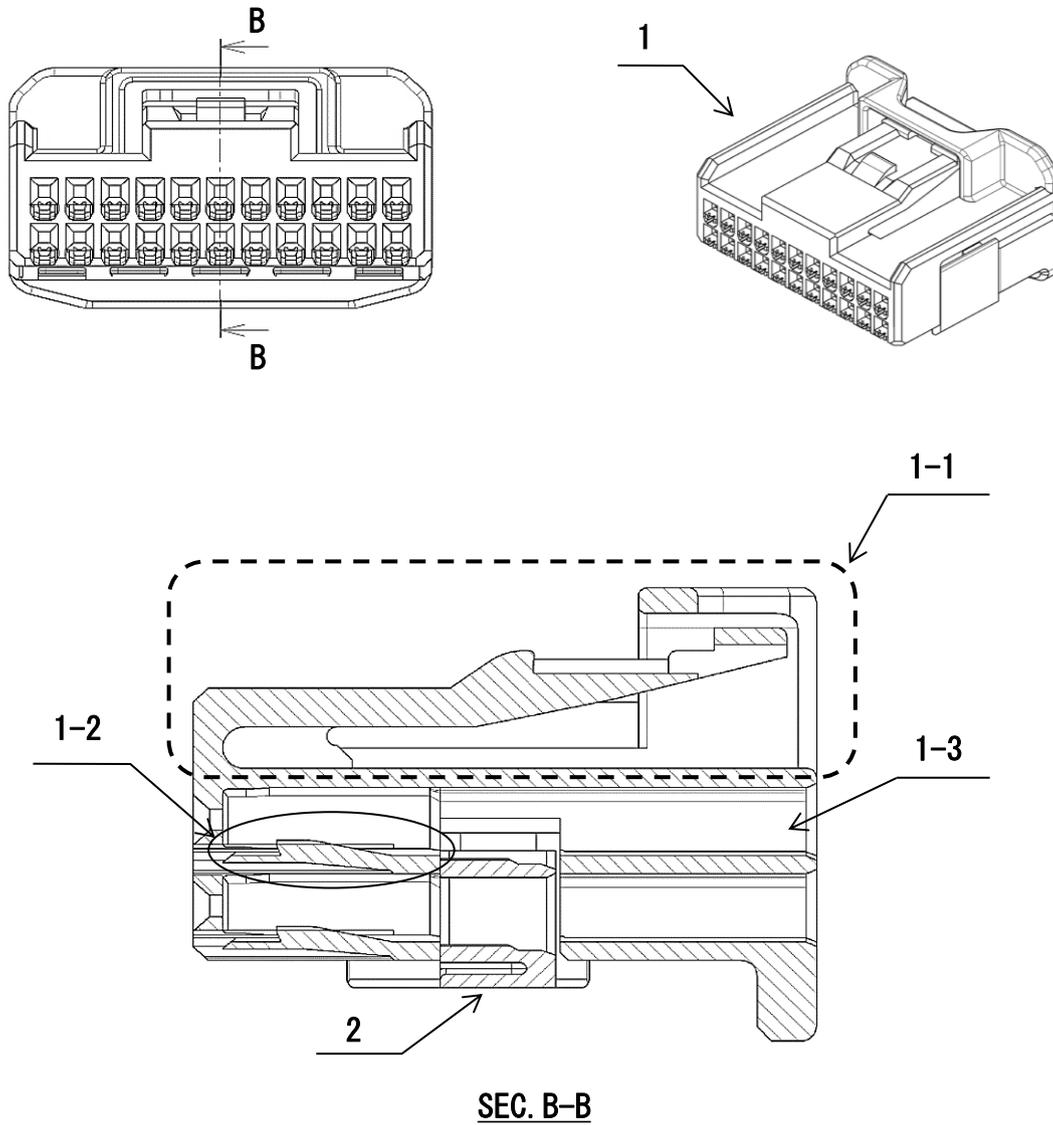


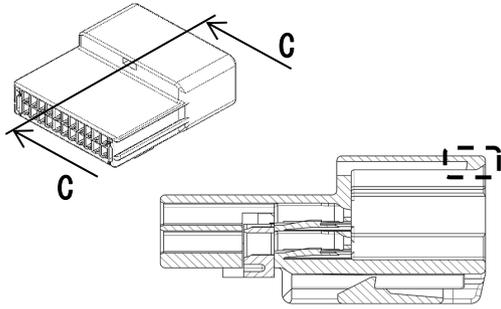
表-2

No.	名称		機能	
1	メス ハウジング	1-1	ロック (種類はP8参照)	オスハウジングの保持
		1-2	ランス	メス端子の保持
		1-3	キャビティ	メス端子の収容部
2	スペーサ (種類はP9参照)		メス端子の半挿入検知及び保持	

**補足** ハウジングロックの種類

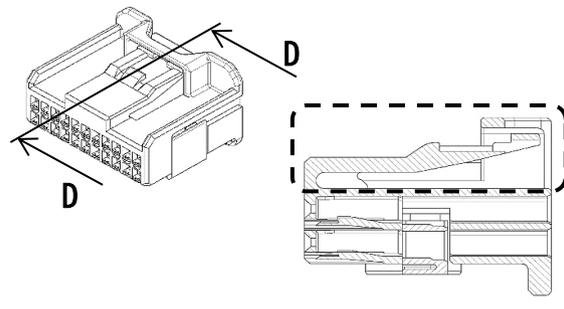
1) インターロック

<オス>



SEC. C-C

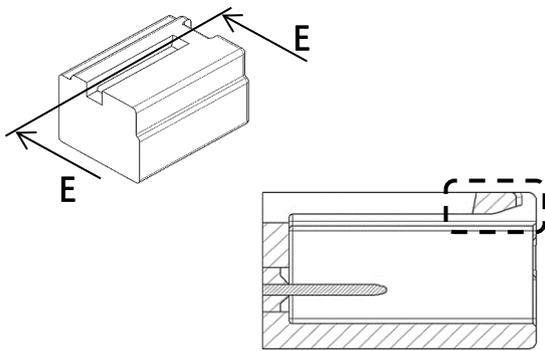
<メス>



SEC. D-D

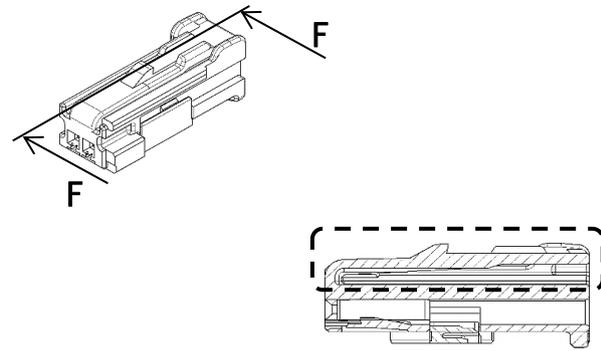
2) 両持ちロック

<オス>



SEC. E-E

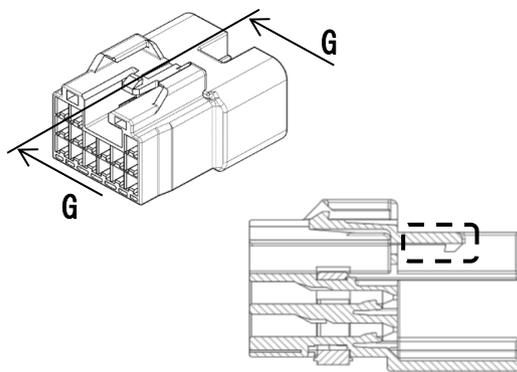
<メス>



SEC. F-F

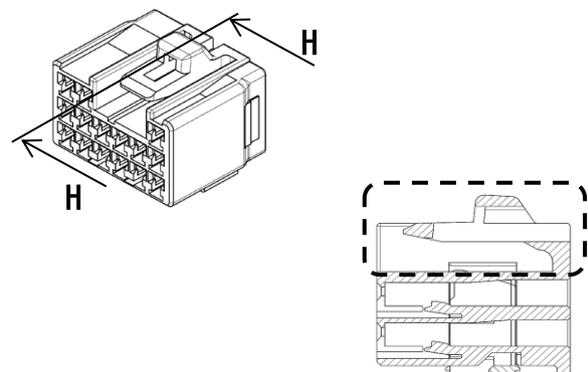
3) 正面ロック

<オス>



SEC. G-G

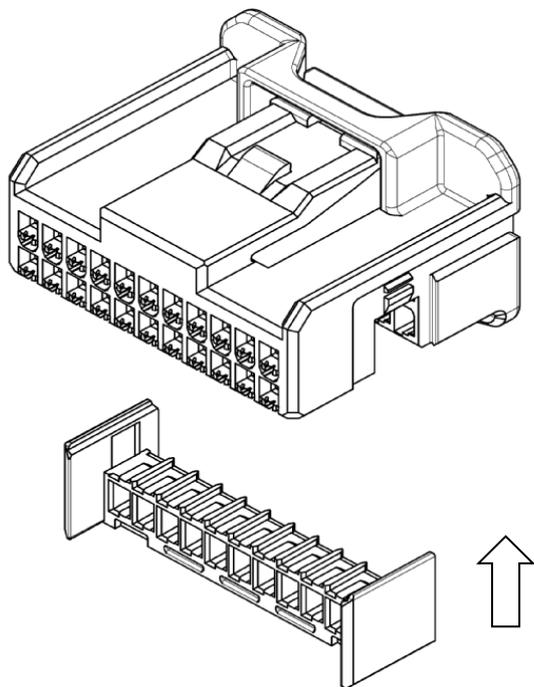
<メス>



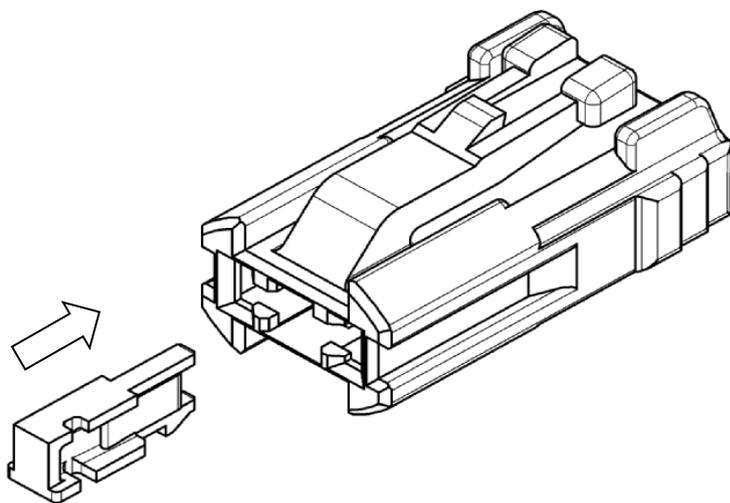
SEC. H-H

**補足** スペースの種類

1) サイドスペースタイプ



2) フロントスペースタイプ



### 3. 製品の受入れ、運搬、保管

#### 3-1. 製品受入れ方法

製品受入時には、下記項目について確認を行って下さい。

確認項目

- ・ 品番の確認
- ・ 異物、異品の混入
- ・ バリ、ヒケ、クラック、ショートショット  
変形、破損、傷、変色、汚れ、欠け



注意

- ・ 上記項目に異常がある場合は、使用しないで下さい。
- ※製品と注文内容に相異、破損がある場合は、弊社営業担当にお問い合わせ頂くか、P1のURLへお問い合わせ下さい。

#### 3-2. 製品の運搬、保管方法



注意

運搬について

- ・ 運搬時の衝撃を避けるため、梱包(保護)して下さい。
- ・ 運搬又は梱包時に、落下などによる、強い衝撃や荷重を与えないようにして下さい。

保管について

- ・ 直射日光の当たらない室内で、常温常湿  
( $20 \pm 15$  [°C]、 $65 \pm 20$  [%RH])の環境下に保管して下さい。
- ・ 古い在庫品は使用しないで下さい。
- ・ 製品に外部から力が加わらない様にして下さい。

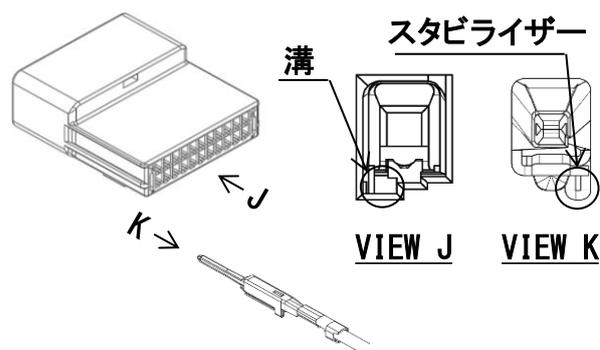
## 4. ワイヤーハーネス製造作業（二重係止タイプ）

### 4-1. ハウジングと端子の組付け

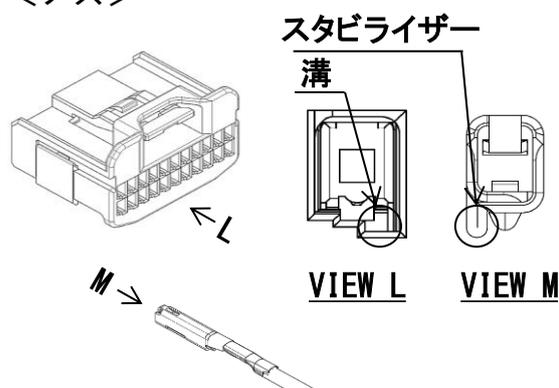
#### 4-1-1. 端子挿入方法

- 1) 端子の挿入前にスペーサが仮係止状態にあることを確認して下さい。  
スペーサが本係止状態にある時は、仮係止状態に戻してから作業を行って下さい。（作業手順は4-2-1. 本係止解除を参照）
- 2) ハウジングのキャビティ溝と端子のスタビライザーの位置を合わせて下さい。

<オス>

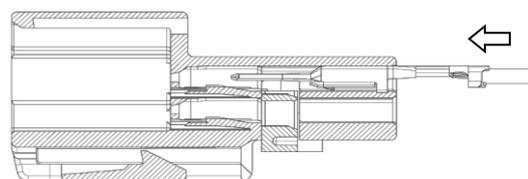


<メス>

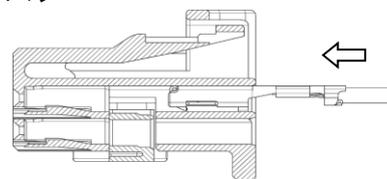


- 3) 係止音がするまで、矢印方向に端子をハウジングへ真っ直ぐ挿入して下さい。

<オス>

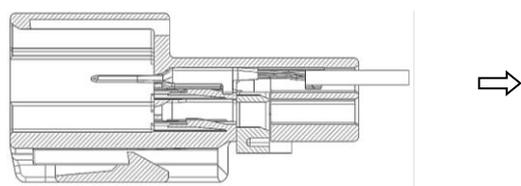


<メス>

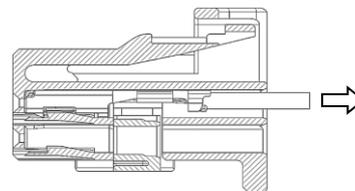


- 4) 電線を軽く引っ張り、端子が確実に係止されていることを確認して下さい。

<オス>



<メス>



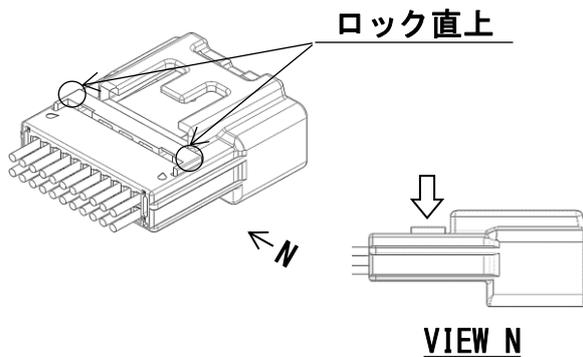
- ・適用端子以外を挿入しないで下さい。
- ・変形、破損した端子を挿入しないで下さい。

#### 4-1-2. スペーサ本係止操作方法

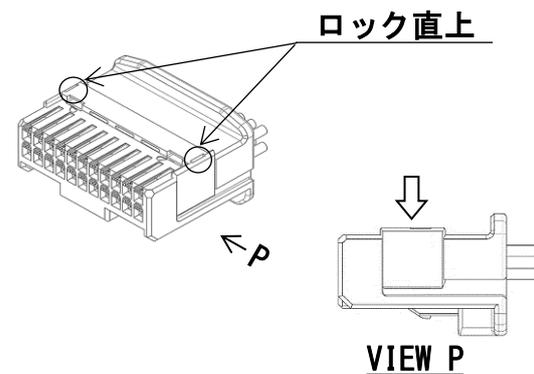
##### ■ サイドスペーサタイプ

- 1) 端子を挿入後、係止音がするまでスペーサのロック直上を矢印方向へ水平に押し込んで下さい。

<オス>

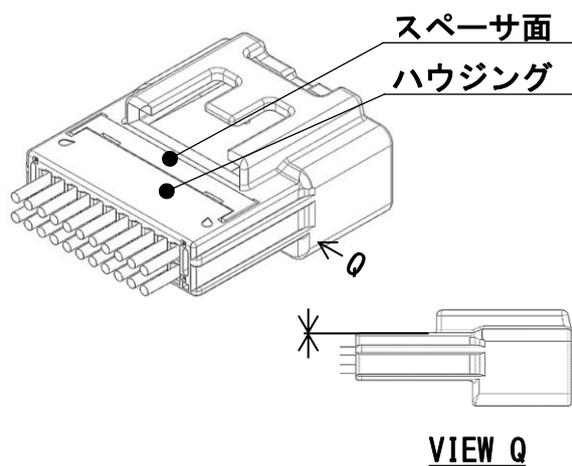


<メス>

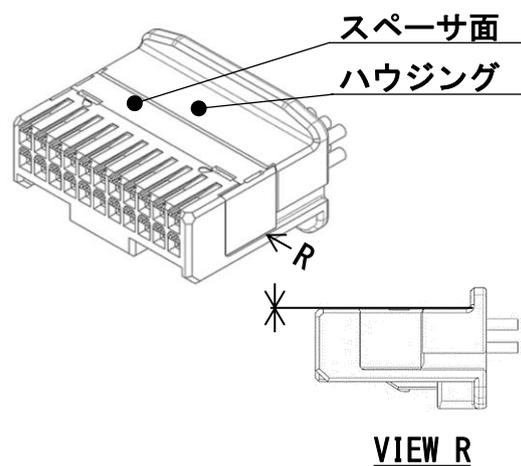


- 2) スペーサ面がハウジング面以下になっていることを確認して下さい。  
(本係止状態)

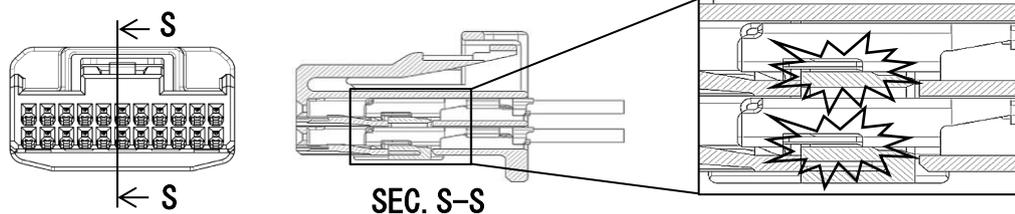
<オス>



<メス>



注意

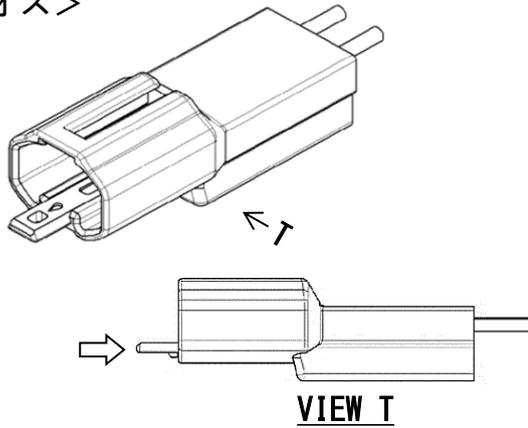


- ・ 治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを变形させないで下さい。

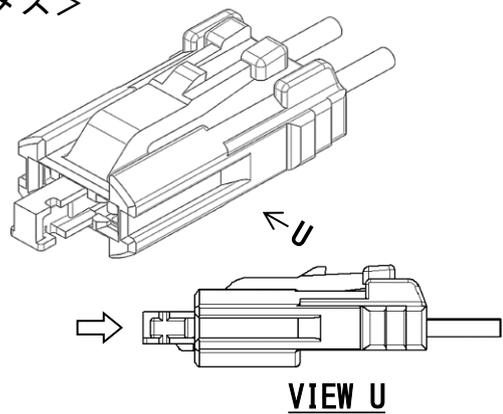
■ フロントスペーサタイプ

1) 端子を挿入後、係止音がするまでスペーサを矢印方向に押し込んで下さい。

<オス>

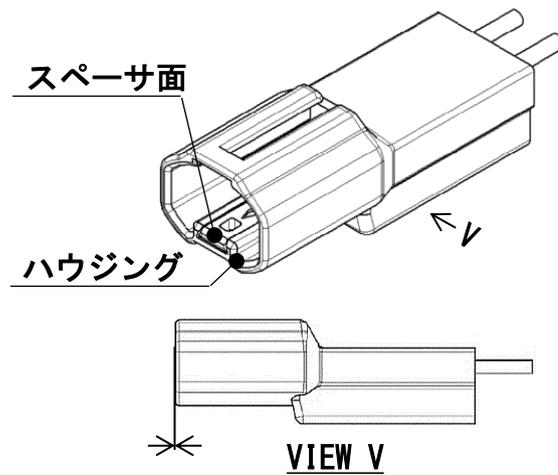


<メス>

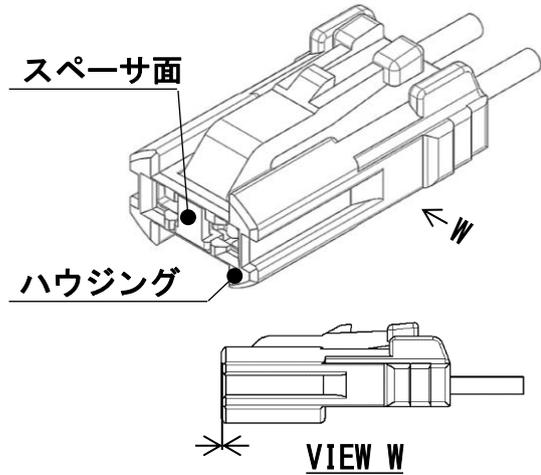


2) スペーサ面がハウジング面以下になっていることを確認して下さい。  
(本係止状態)

<オス>



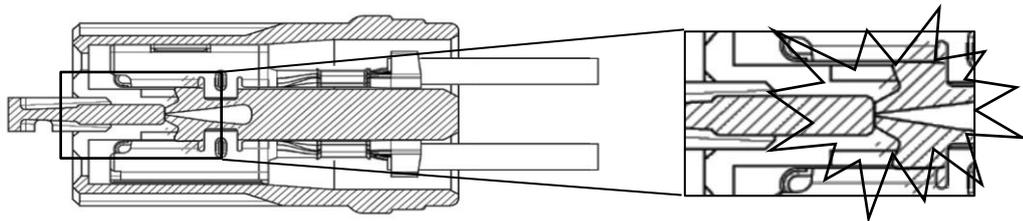
<メス>



・ スペーサを本係止状態に出来ない場合は、下図の状態になっている場合がありますので、無理に押し込まず、端子係止確認 4-1-1 4) とスペーサの係止解除 4-2-1. の作業を実施後、端子挿入 4-1-1. の作業からやり直して下さい。



注意



・ 治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを変形させないで下さい。

## 4-2. ハウジングと端子の取り外し

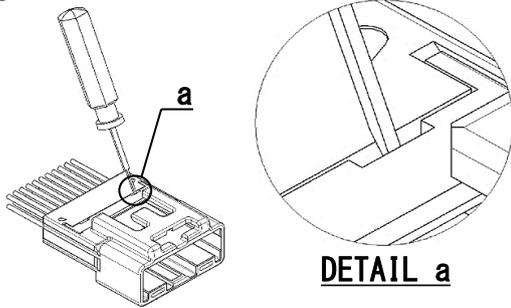
### 4-2-1. 本係止解除

#### ■ サイドスペーサタイプ

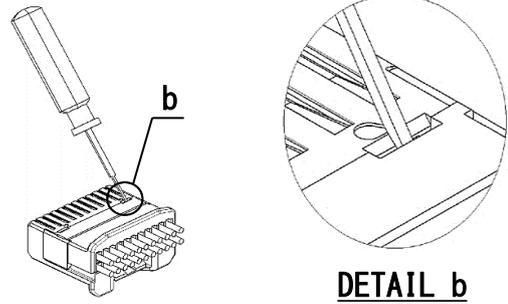
- 1) スペーサの解除位置（下図参照）を確認し、マイナスドライバー又は治具を下図のように挿入して下さい。

参考) 弊社治具番号：49YF000003

<オス>

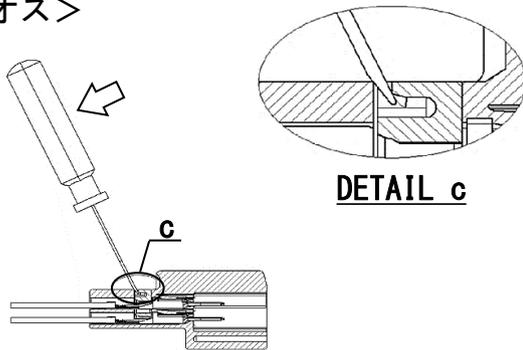


<メス>

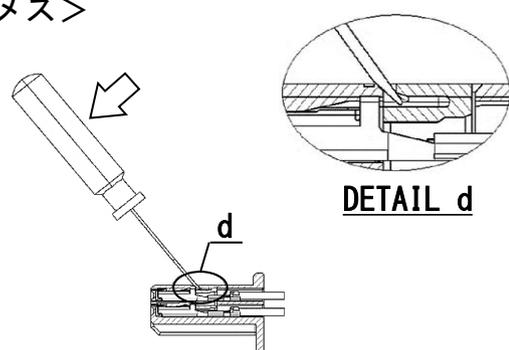


- 2) 治具を矢印の方向へ動かし、スペーサを仮係止状態にして下さい。

<オス>

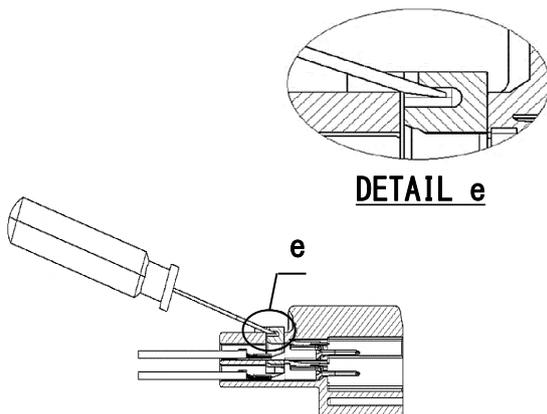


<メス>

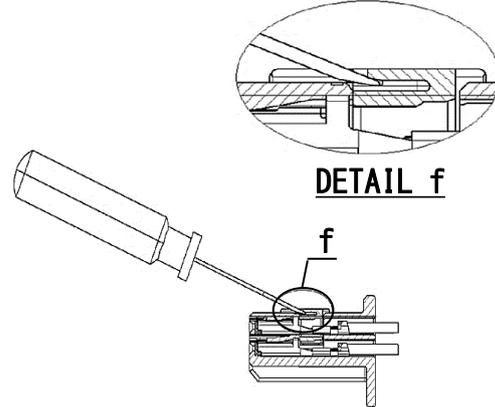


- 3) スペーサが確実に仮係止位置に戻っている事を確認して下さい。

<オス>



<メス>

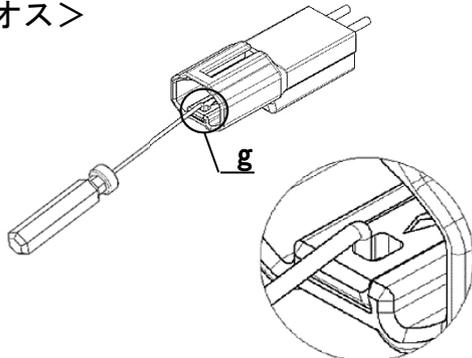


■ フロントスペーサタイプ

- 1) スペーサの解除位置(下図参照)を確認し、マイナスドライバー又は治具を下図のように挿入して下さい。

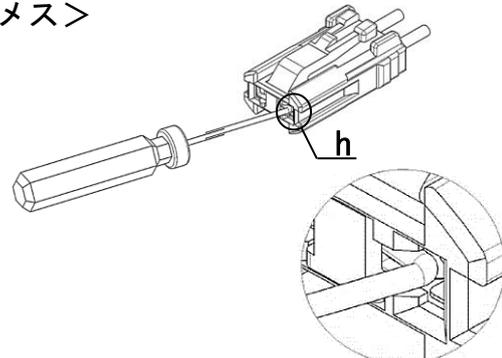
参考) 弊社治具番号 : 49YF100037

<オス>



DETAIL g

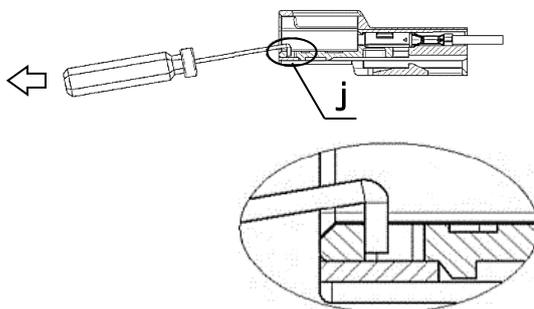
<メス>



DETAIL h

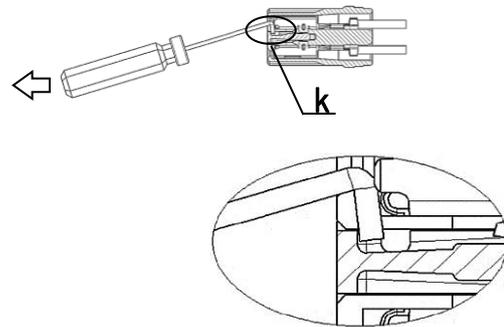
- 2) 治具を矢印の方向へ動かし、スペーサを仮係止状態にして下さい。

<オス>



DETAIL j

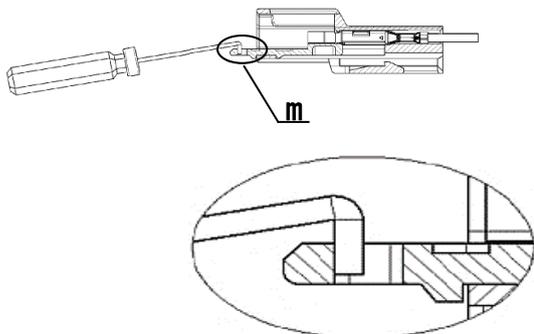
<メス>



DETAIL k

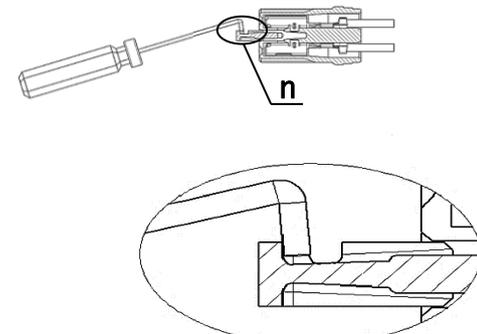
- 3) スペーサが確実に仮係止位置に戻っている事を確認して下さい。

<オス>



DETAIL m

<メス>



DETAIL n



注意

- ・ 仮係止状態にする時は、強い荷重をかけないで下さい。
- ・ 仮係止状態に戻したら、解除操作をやめて下さい。
- ・ 治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを変形させないで下さい。

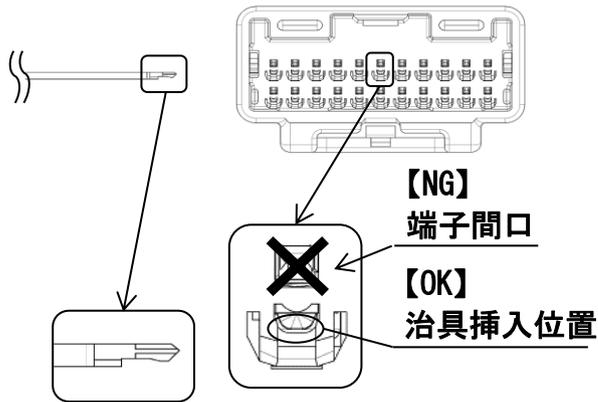
## 4-2-2. 端子の取外し方法

### ■ 0.64 II 端子

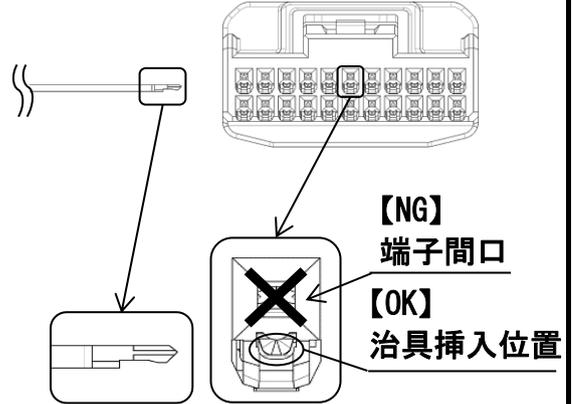
1) 治具の向きと治具挿入位置を下図のように合せて下さい。

参考) 弊社治具番号 : 49YA000621

<オス>

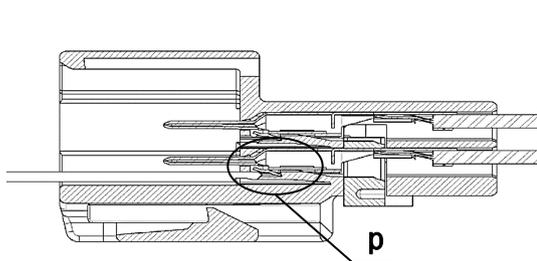


<メス>

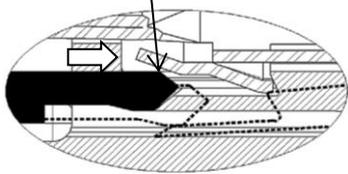


2) 抜き治具を矢印の方向へ真っ直ぐ挿入し、抜き治具の突き当て部がハウジングに当たるまで治具を挿入してハウジングランスを撓ませて下さい。

<オス>

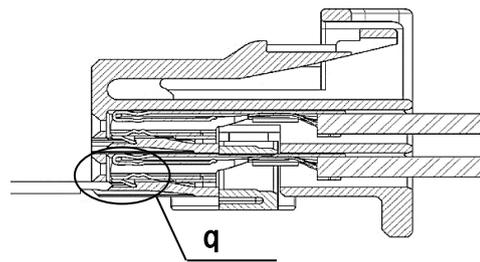


抜き治具

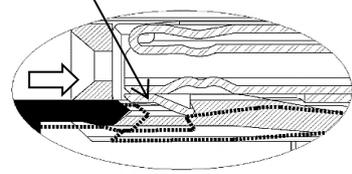


DETAIL p

<メス>

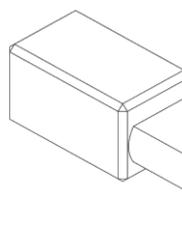


抜き治具



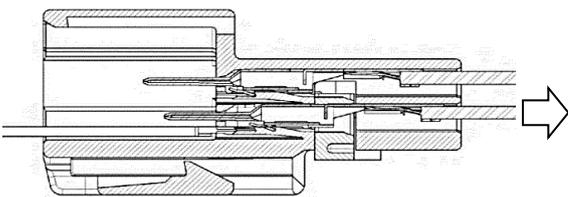
DETAIL q

突き当て部

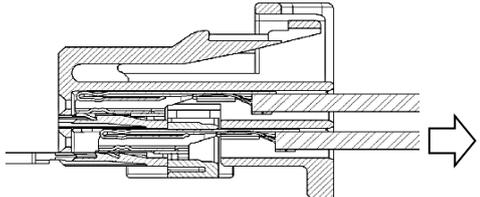


3) 電線を矢印の方向へ軽く引っ張り端子を抜いて下さい。

<オス>



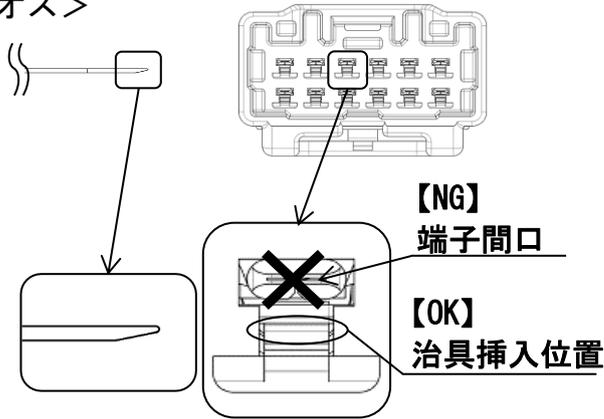
<メス>



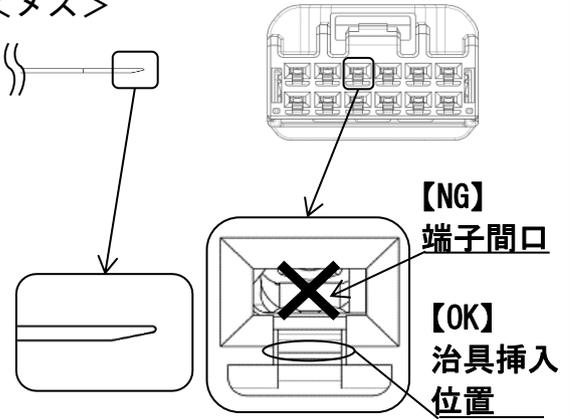
■ 1.5端子

- 1) 治具の向きと治具挿入位置を下図のように合せて下さい。  
 参考) 弊社治具番号 : 49YA000395

<オス>

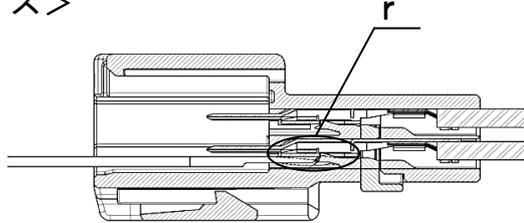


<メス>

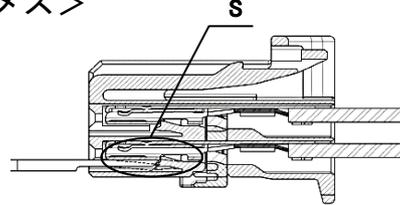


- 2) 抜き治具を矢印(I)方向へ真っ直ぐ挿入し、抜き治具の突き当て部がハウジングに当たるまで治具を挿入して下さい。  
 その後、矢印(II)方向に治具を動かしハウジングランスを撓ませて下さい。

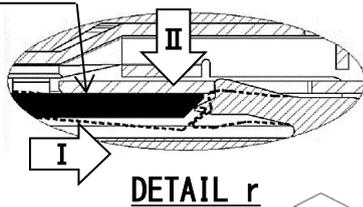
<オス>



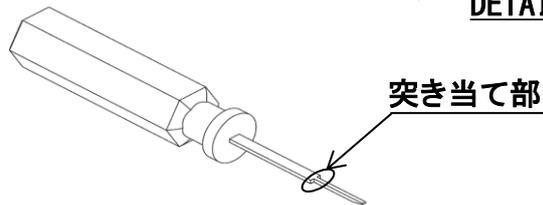
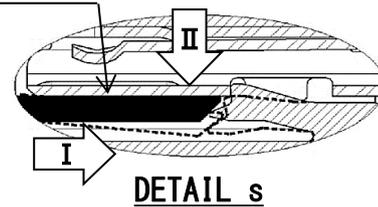
<メス>



抜き治具

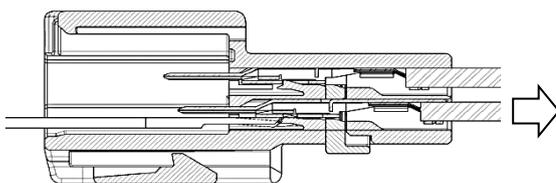


抜き治具

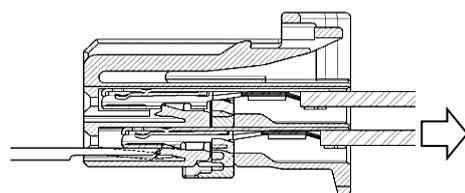


- 3) 電線を矢印の方向へ軽く引っ張り端子を抜いて下さい。

<オス>



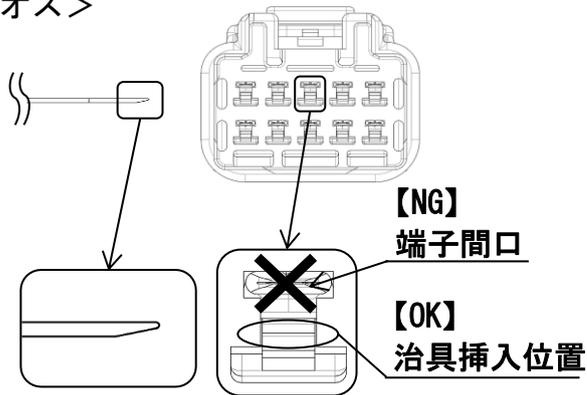
<メス>



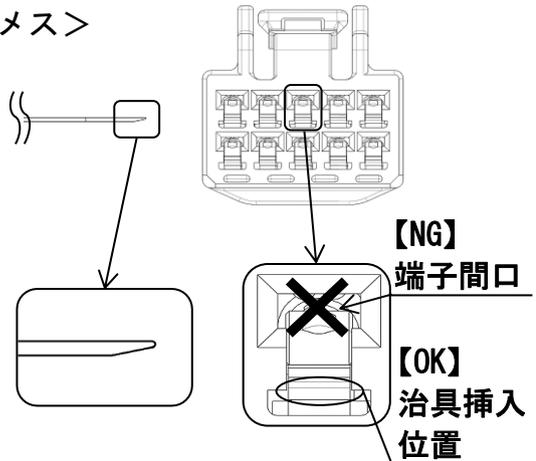
■ 2.3Ⅱ、4.8、8.0、9.5端子

- 1) 治具の向きと治具挿入位置を下図のように合せて下さい。  
参考) 弊社治具番号：49YA000042

<オス>

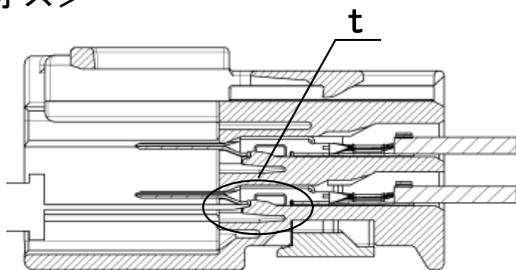


<メス>

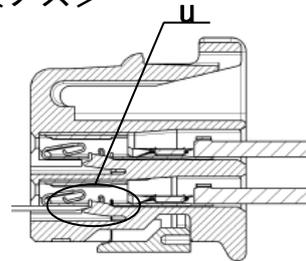


- 2) 抜き治具を矢印(I)方向へ真っ直ぐ挿入し、抜き治具の先端がハウジングランスに当たるまで治具を挿入して下さい。  
その後、矢印(Ⅱ)方向に治具を動かしハウジングランスを撓ませて下さい。

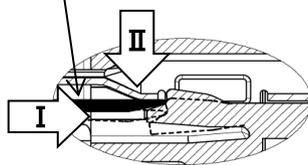
<オス>



<メス>

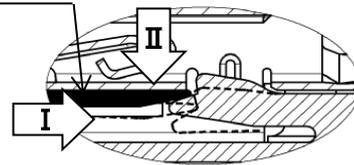


抜き治具



DETAIL t

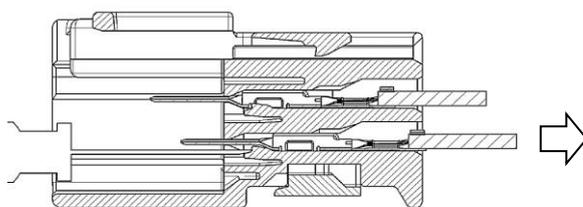
抜き治具



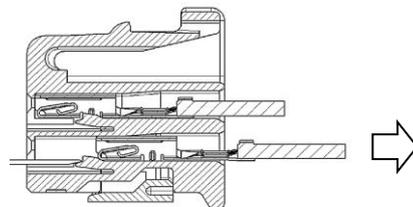
DETAIL u

- 3) 電線を矢印の方向へ軽く引っ張り端子を抜いて下さい。

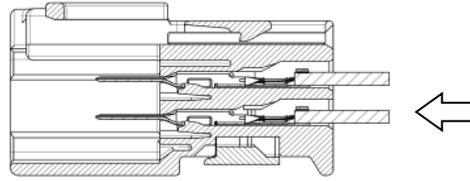
<オス>



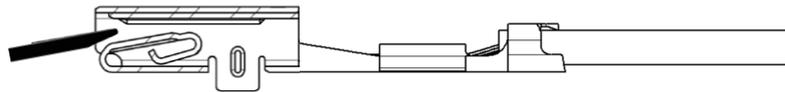
<メス>



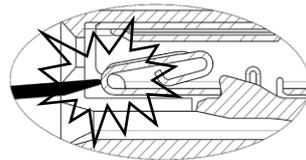
※ 端子が抜きづらい場合は、ハウジングランスを撓ます前に端子を矢印方向へ押し込んで下さい。



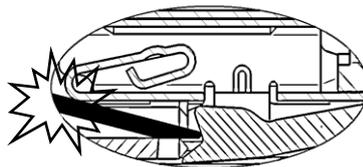
- ・ 抜き治具を挿入する際は押し込み過ぎないようにして下さい。
- ・ 治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを変形させないで下さい。
- ・ 端子箱部内に治具を入れないで下さい。



- ・ 治具を端子にどつかせないで下さい。



- ・ 端子ばね部を支点にして解除しないで下さい。



- ・ 端子がハウジングから容易に抜けられない場合は、無理に引っ張らないで端子の取外し方法4-2-2.1)の作業からやり直して下さい。

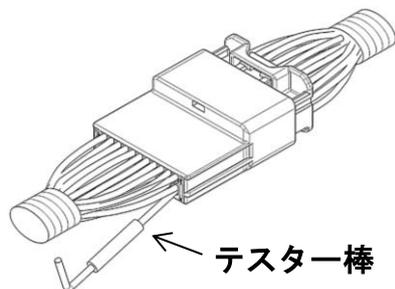
## 4-3. 導通検査、端子半挿入検知

### 4-3-1. 導通検査治具での検査方法

配線検査や導通検査に使用する治具は、ハウジングや端子を破損しないようにかん合相手と同程度の精度として下さい。

### 4-3-2. テスターでの検査方法

テスター等で導通や電圧を調べる時、テスター棒は必ず下図のように電線側から差し込んで下さい。差し込めない場合には、相手コネクタもしくは専用の導通検査治具を使用してチェックして下さい。



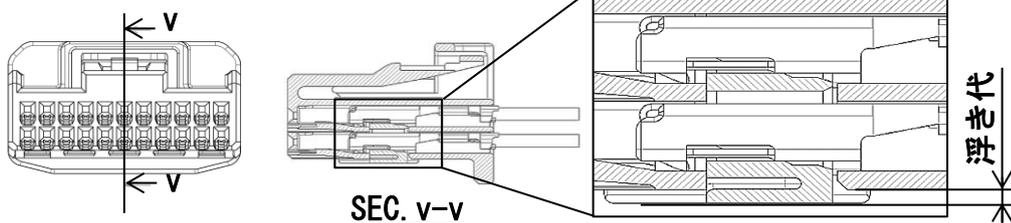
注意

・ テスター棒を使用時に、端子を損傷させないで下さい。

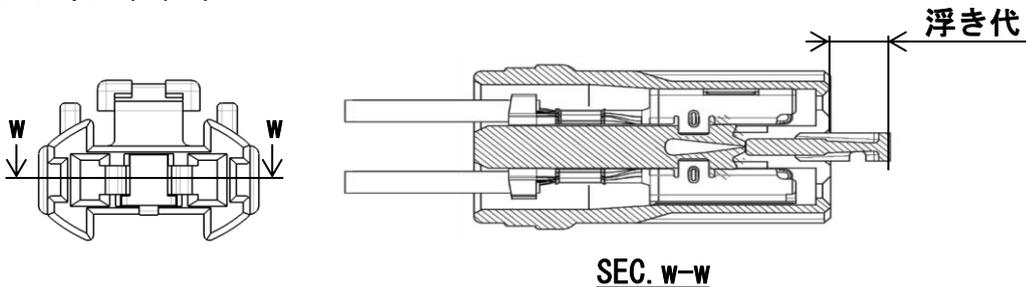
### 4-3-3. 端子半挿入検知方法

端子半挿入検知については、目視ではなくスペーサの浮き代を専用治具で確認して下さい。それが出来ない場合は、端子引っ張り確認などで確実に端子半挿入状態で無い事を確認して下さい。

#### ■ サイドスペーサタイプ



#### ■ フロントホルダタイプ



注意

・ 上記作業に使用する治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを変形させないで下さい。

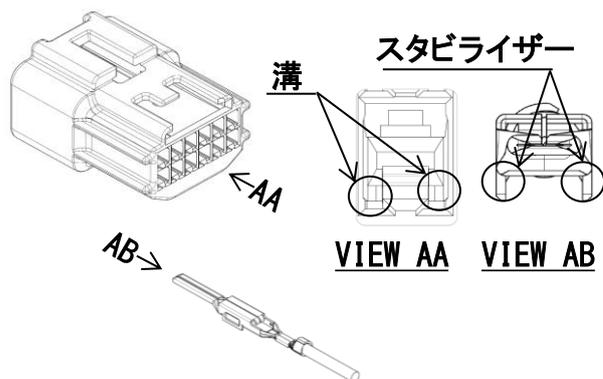
## 5. ワイヤーハーネス製造作業 (HLCタイプ)

### 5-1.ハウジングと端子の組付け

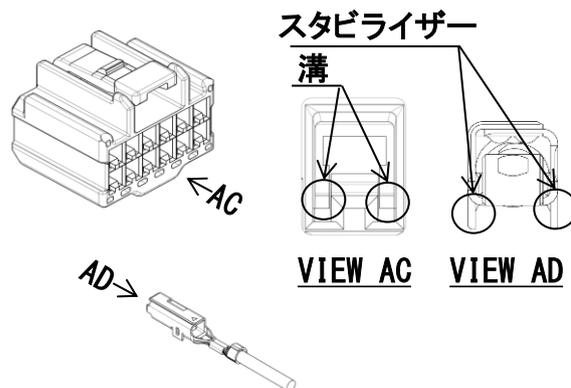
#### 5-1-1. 端子挿入方法

1) ハウジングのキャビティ溝と端子のスタビライザーの位置を合わせて下さい。

<オス>

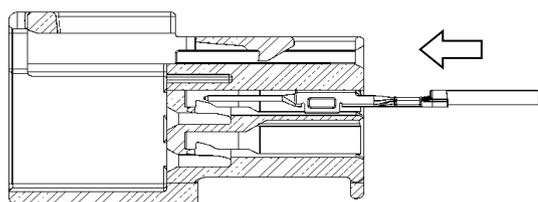


<メス>

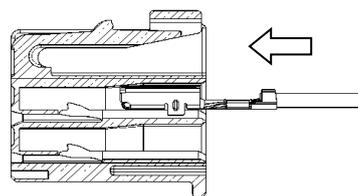


2) 係止音がするまで、矢印方向に端子をハウジングへ真っ直ぐ挿入して下さい。

<オス>

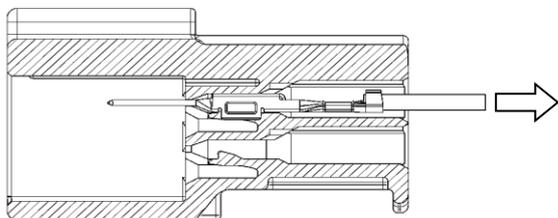


<メス>

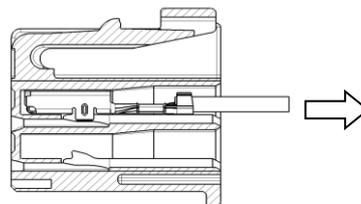


3) 電線を軽く引っ張り、端子が確実に係止されていることを確認して下さい。

<オス>



<メス>



- ・適用端子以外を挿入しないで下さい。
- ・変形、破損した端子を挿入しないで下さい。

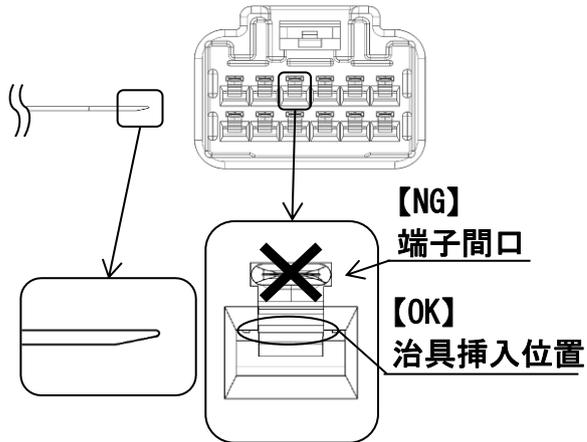
## 5-2. ハウジングと端子の取り外し

### 5-2-1. 端子の取外し方法

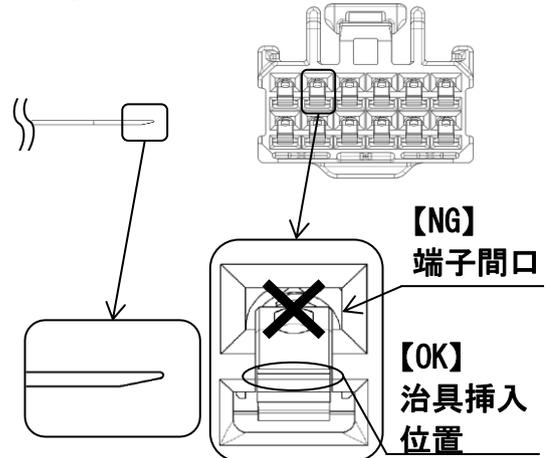
#### ■ 2.3Ⅱ、4.8、8.0、9.5端子

- 1) 治具の向きと治具挿入位置を下図のように合せて下さい。  
参考) 弊社治具番号：49YA000042

<オス>

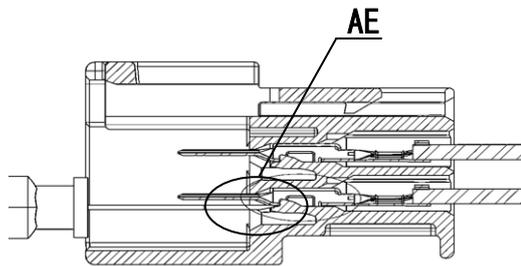


<メス>

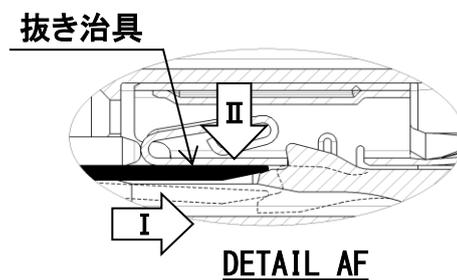
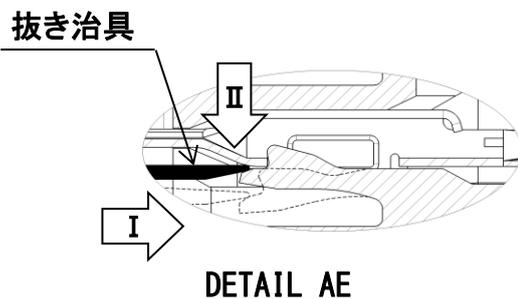
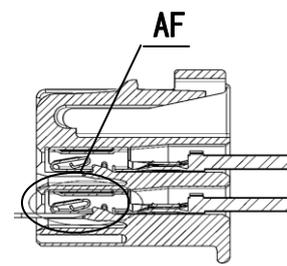


- 2) 抜き治具を矢印(I)方向へ真っ直ぐ挿入し、抜き治具の先端がハウジングランスに当たるまで治具を挿入して下さい。  
その後、矢印(Ⅱ)方向に治具を動かしハウジングランスを撓ませて下さい。

<オス>

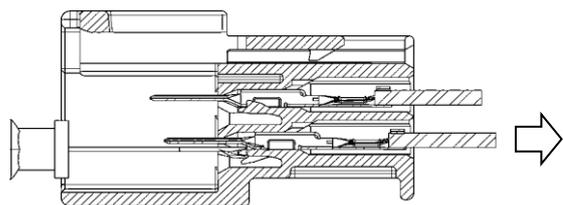


<メス>

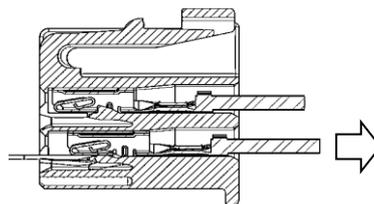


3) 電線を矢印の方向へ軽く引っ張り端子を抜いて下さい。

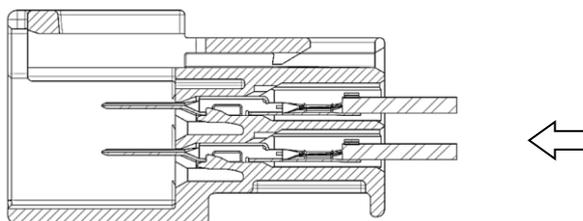
<オス>



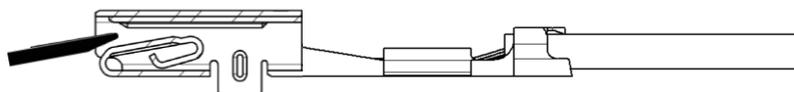
<メス>



※ 端子が抜きづらい場合は、ハウジングランスを撓ます前に端子を矢印方向へ押し込んで下さい。

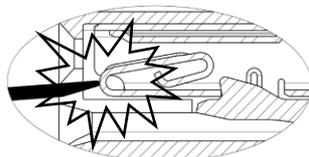


- ・ 抜き治具を挿入する際は押し込み過ぎないようにして下さい。
- ・ 治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを変形させないで下さい。
- ・ 端子箱部内に治具を入れないで下さい。

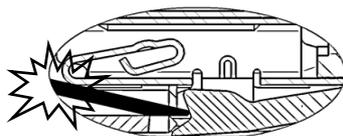


- ・ 治具を端子にどつかせないで下さい。

⚠  
注意



- ・ 端子ばね部を支点にして解除しないで下さい。



- ・ 端子がハウジングから容易に抜けられない場合は、無理に引っ張らないで端子の取外し方法5-2-1.1)の作業からやり直して下さい。

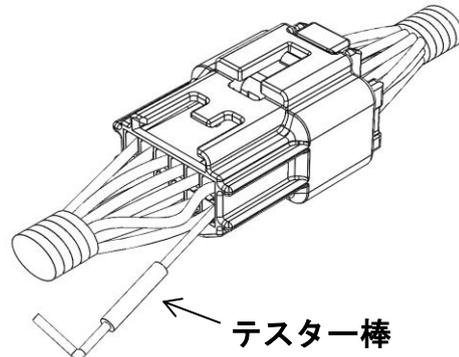
## 5-3. 導通検査、半挿入検知

### 5-3-1. 導通検査治具での検査方法

配線検査や導通検査に使用する治具は、ハウジングや端子を破損しないようにかん合相手と同程度の精度として下さい。

### 5-3-2. テスターでの検査方法

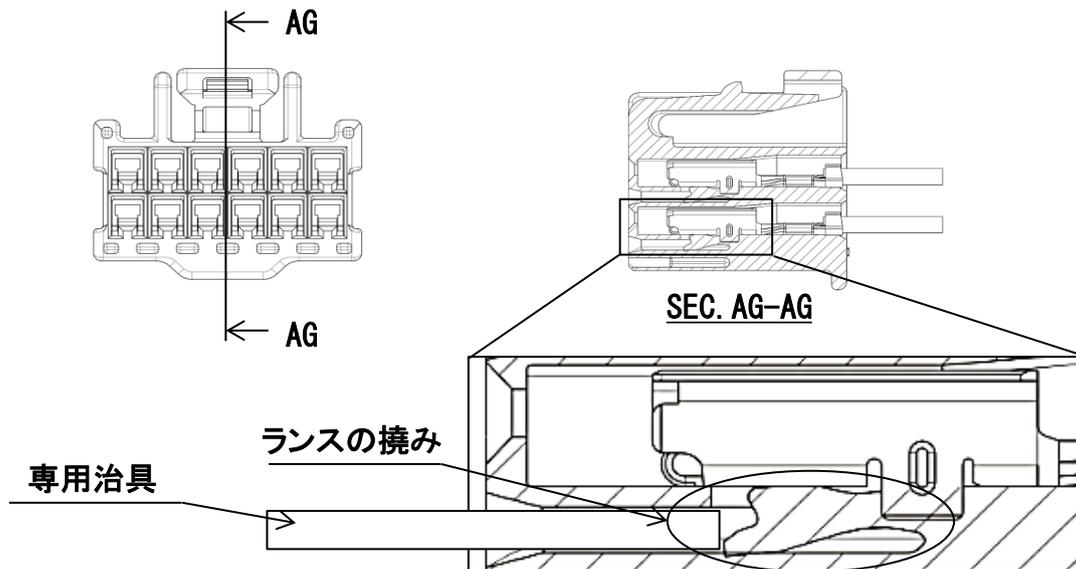
テスター等で導通や電圧を調べる時、テスター棒は必ず下図のように電線側から差し込んで下さい。差し込めない場合には、相手コネクタもしくは専用の導通検査治具を使用してチェックして下さい。



・テスター棒を使用時に、端子を損傷させないで下さい。

### 5-3-3. 半挿入検知方法

端子半挿入検知については、ランスの撓みを専用治具で確認して下さい。それが出来ない場合は、端子引っ張り確認などで確実に端子半挿入状態でない事を確認して下さい。



・上記作業に使用する治具等でオス端子のタブ、メス端子のばねを変形させないで下さい。

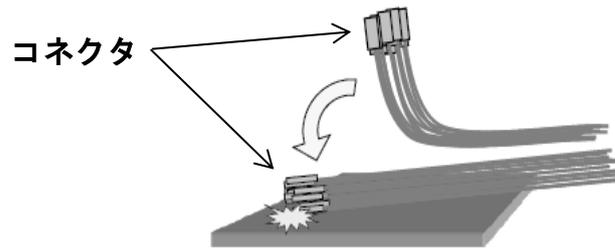
## 6. ワイヤーハーネスの管理、梱包、開封

### 6-1. ワイヤーハーネスの管理

#### 6-1-1. ワイヤーハーネスの配策方法



- ・ 衝撃を与える様な、取り扱いはしないで下さい。

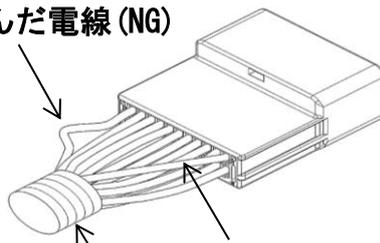


#### 6-1-2. ワイヤーハーネスの外装テープ巻き方法

- ・ 特定の電線が突っ張ったり、弛むようなテープ巻きはしないで下さい。

<NG>

弛んだ電線 (NG)

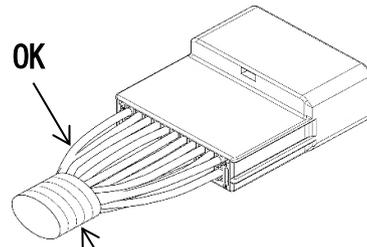


突っ張った電線 (NG)

テープ巻き

<OK>

OK



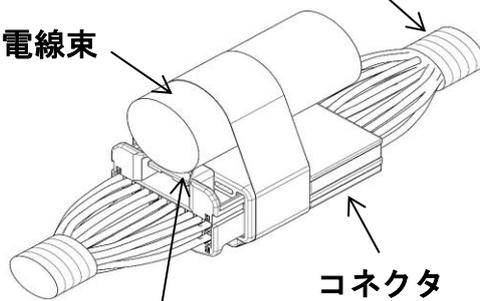
テープ巻き



- ・ コネクタをワイヤーハーネスにテープ止めする場合は、ハウジングロックに電線束が当たらないようにして下さい。

<NG>

電線束



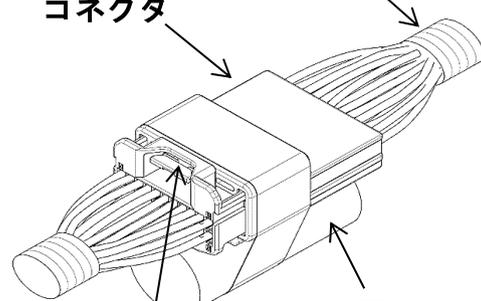
ハウジングロック

テープ

コネクタ

<OK>

コネクタ



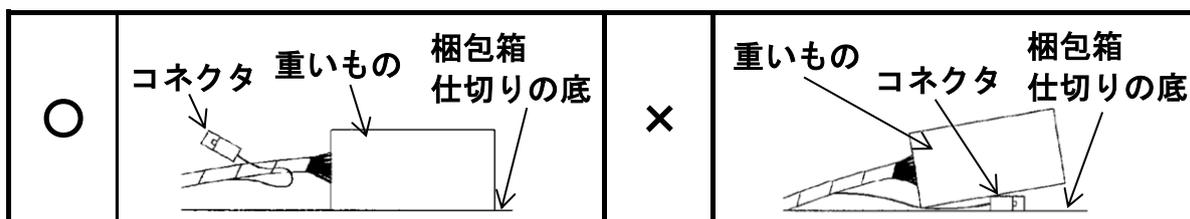
ハウジングロック

テープ

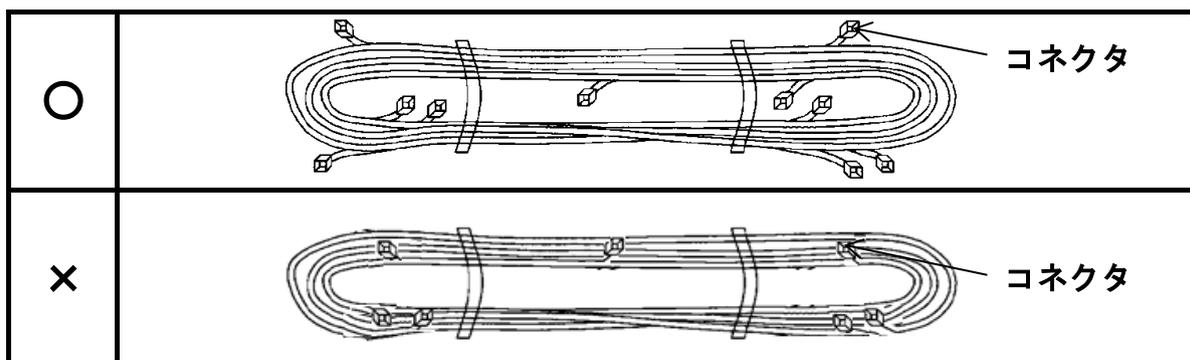
電線束

## 6-2. ワイヤーハーネスの梱包

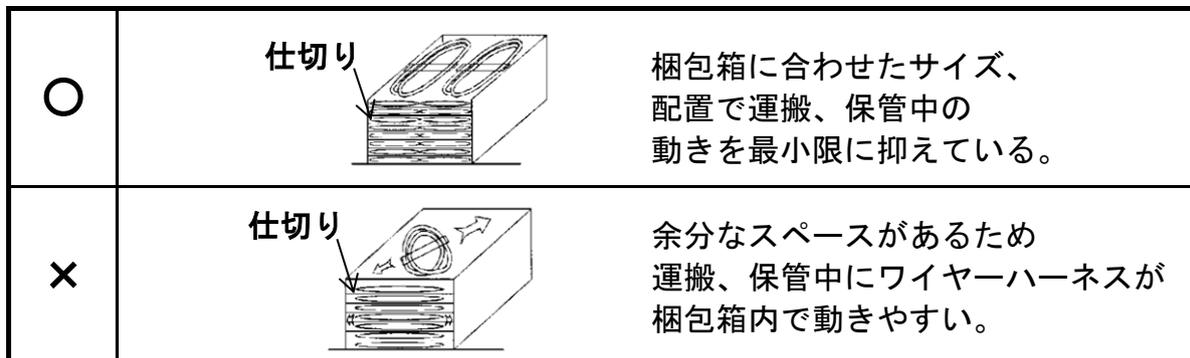
- 1) ジャンクションブロック、リレーボックス、プロテクター、ブラケットのような重いものは、梱包箱や仕切りの底に配置して下さい。



- 2) コネクタはワイヤーハーネス束の外側か内側へ配置して下さい。



- 3) 運搬、保管中にワイヤーハーネスが動かないように、仕切りを使用し、梱包箱に合うサイズで束ねて下さい。



- ・製品にかかるワイヤーハーネスの荷重を均一にして下さい。

## 6-3. ワイヤーハーネスの開封

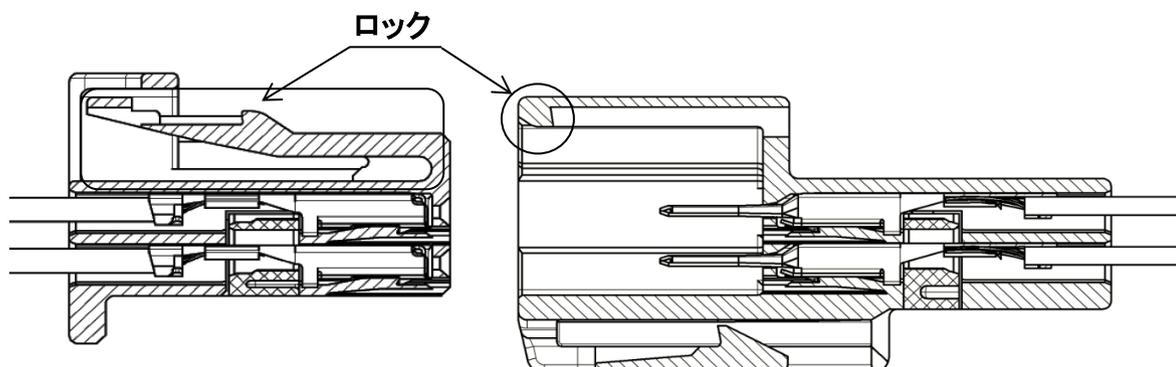


- ・梱包箱からワイヤーハーネスを取り出す際は、ワイヤーハーネスの絡みに注意して下さい。
- ・踏む、落下させる等によって外部から力を加わらない様にして下さい。

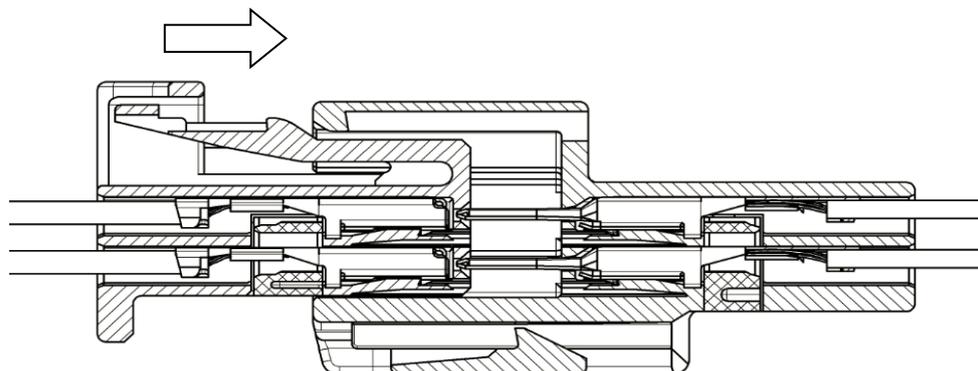
## 7. コネクタのかん合・離脱

### 7-1. コネクタのかん合方法

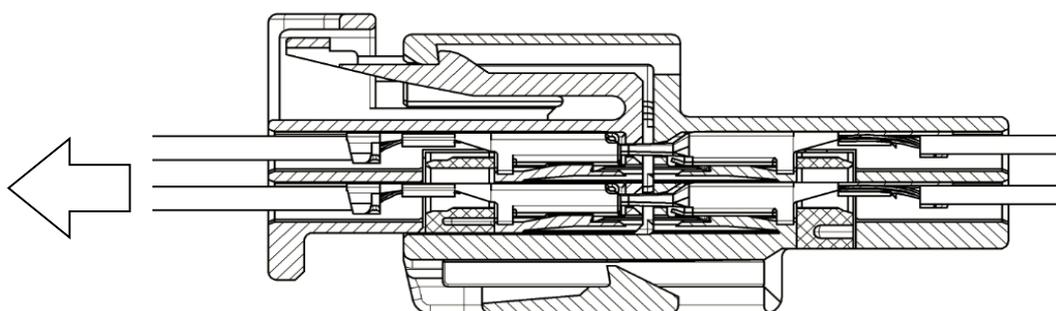
- 1) オス・メスコネクタのロックが同じ方向であることを確認して下さい。



- 2) 係止音がするまで、矢印方向にメスコネクタをオスハウジングへ真っ直ぐ押し込んで下さい。



- 3) メスコネクタを矢印方向に軽く引っ張り、ロックが確実に係止していることを確認して下さい。

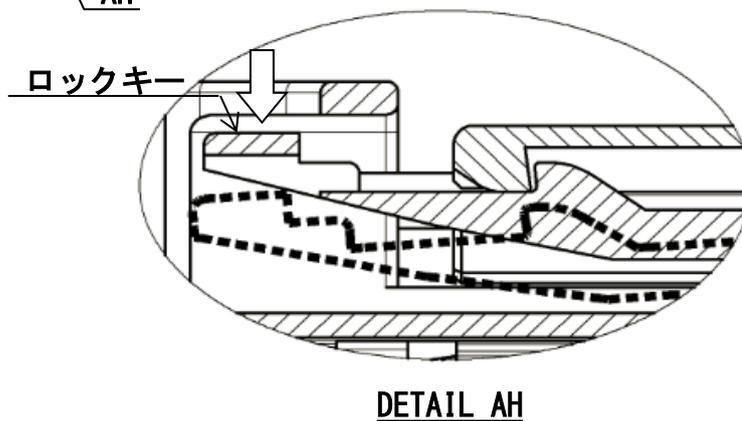
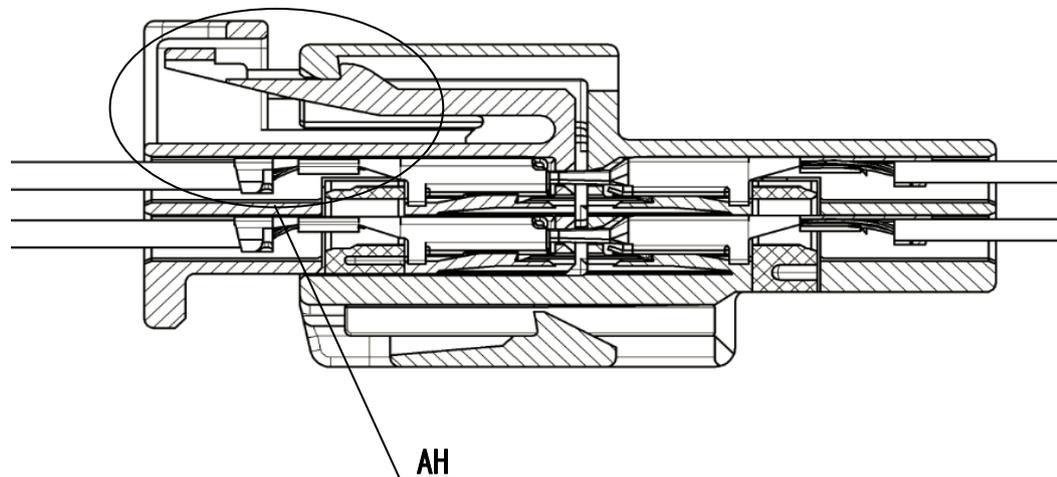


・電線を持って挿入しないで下さい。

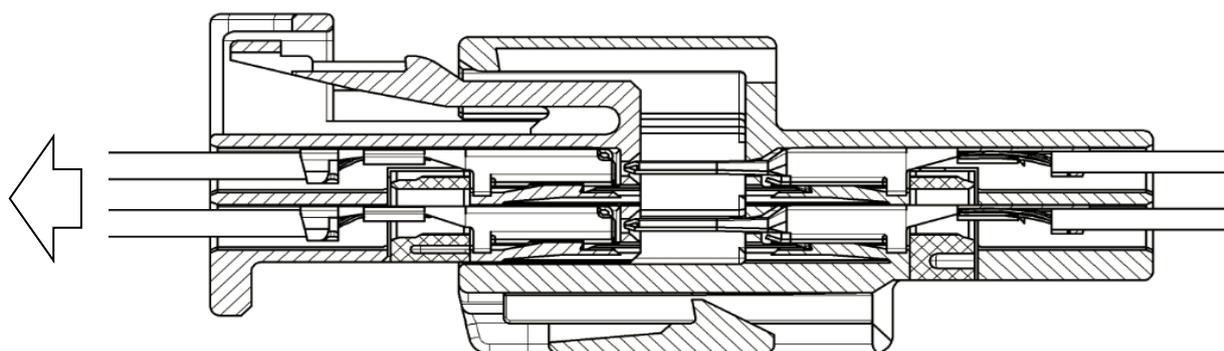
## 7-2. コネクタの離脱方法

### ■ インターロックタイプ

- 1) ロックキーを押し下げ、ロックを解除して下さい。

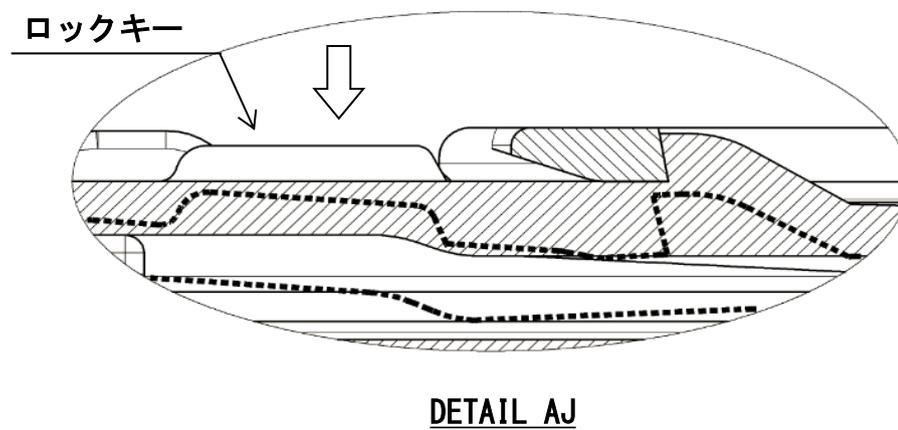
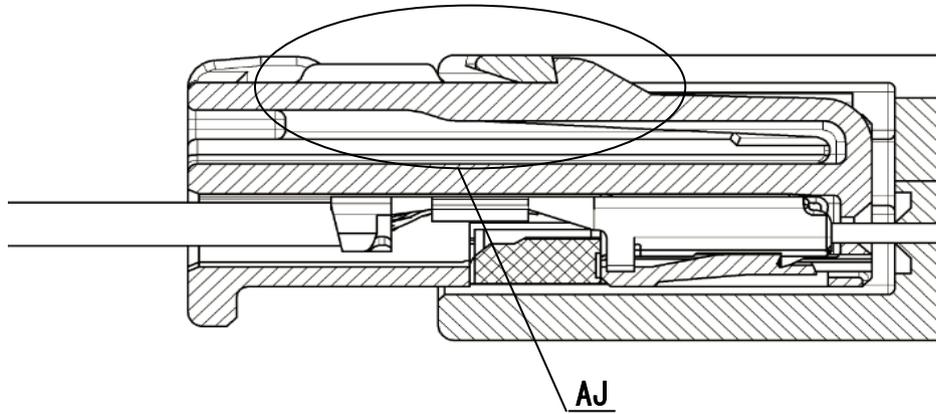


- 2) ロックキーを押し下げたまま、下図のようにメスコネクタを矢印方向に引っ張って離脱して下さい。

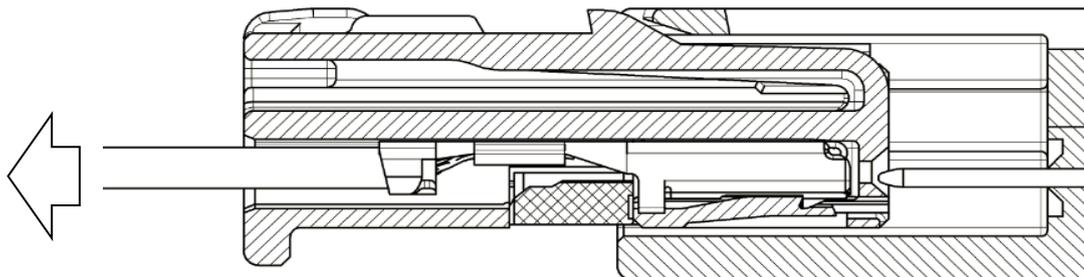


■ 両持ちロックタイプ

1) ロックキーを押し下げ、ロックを解除して下さい。

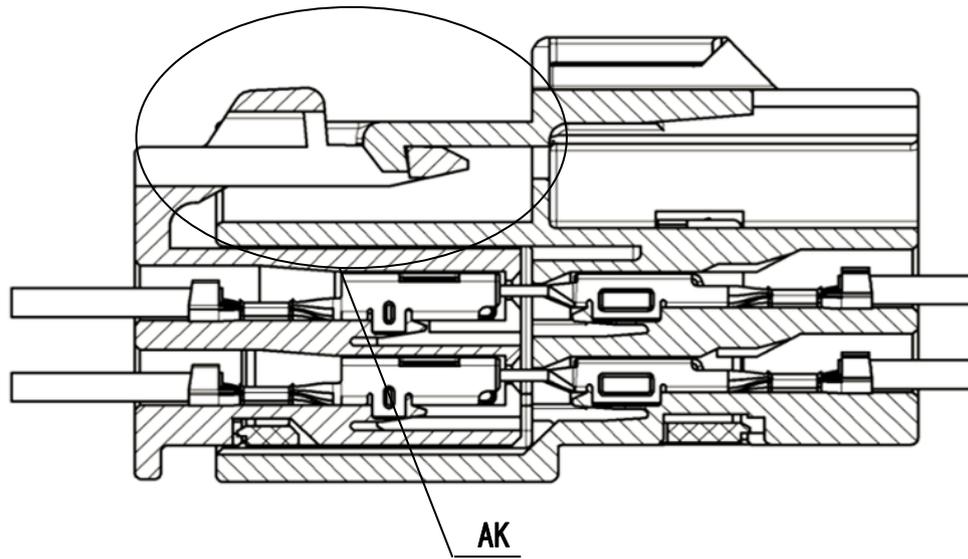


2) ロックキーを押し下げたまま、下図のようにメスコネクタを矢印方向に引っ張って離脱して下さい。

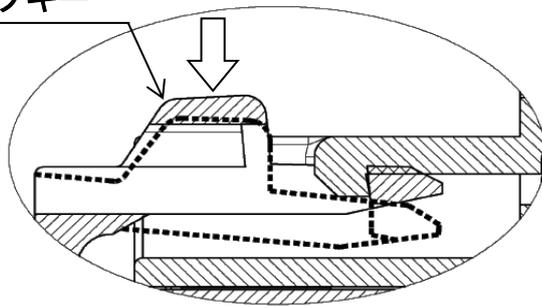


■ 正面ロックタイプ

1) ロックキーを押し下げ、ロックを解除して下さい。

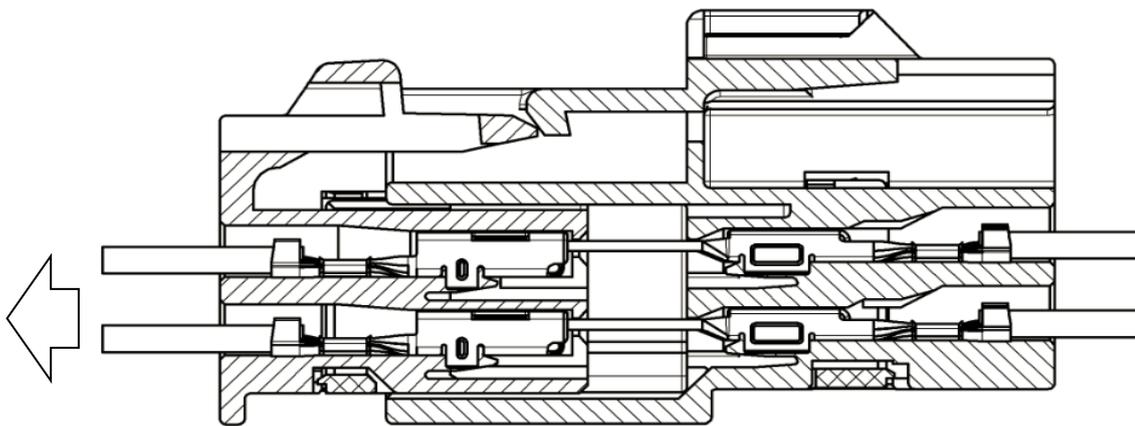


ロックキー



DETAIL AK

2) ロックキーを押し下げたまま、下図のようにメスコネクタを矢印方向に引っ張って離脱して下さい。



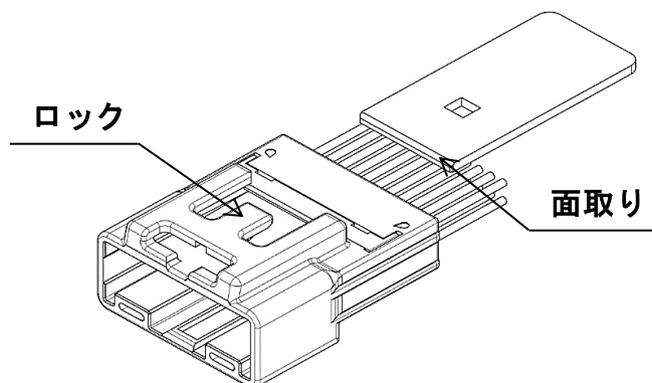
注意

・電線を持って解除しないで下さい。

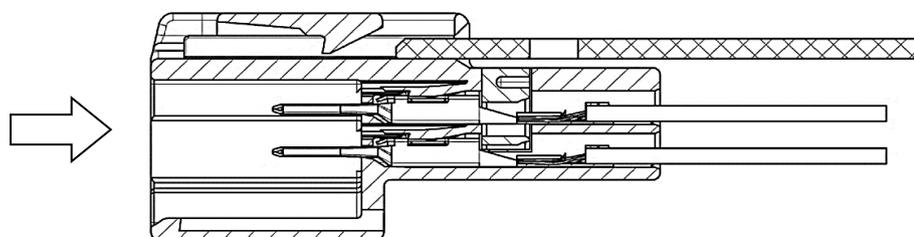
## 8. ブラケットへの挿入・離脱

### 8-1. ブラケットへの挿入方法

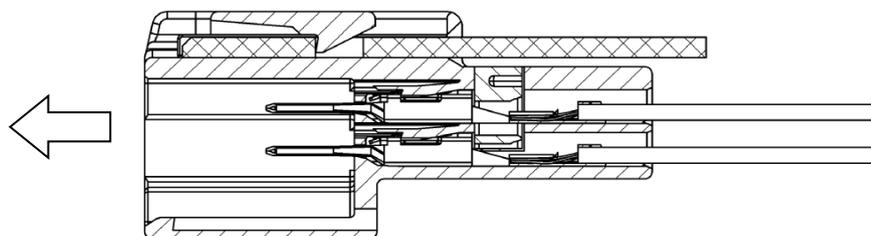
- 1) ブラケットの面取りをカセットのロック側になるように合わせて下さい。



- 2) 係止音がするまで、矢印方向にコネクタをブラケットへ真っ直ぐ挿入して下さい。



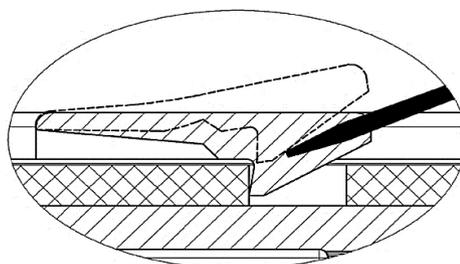
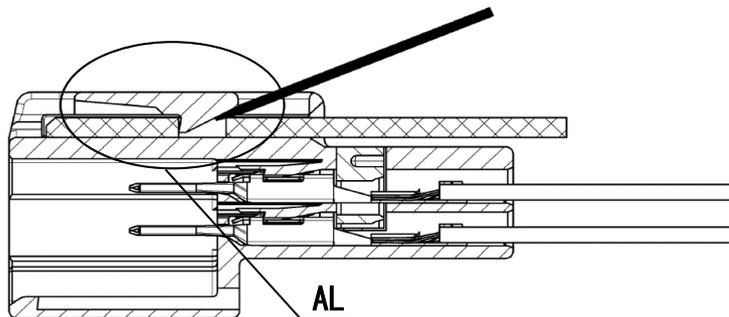
- 3) コネクタを軽く引っ張り、ブラケットが確実に係止されていることを確認して下さい。



- ・電線を持って挿入しないで下さい。
- ・カセット内に異物がないか確認して下さい。
- ・適用ブラケット以外を挿入しないで下さい。  
(適用ブラケットについては品番一覧を参照下さい)

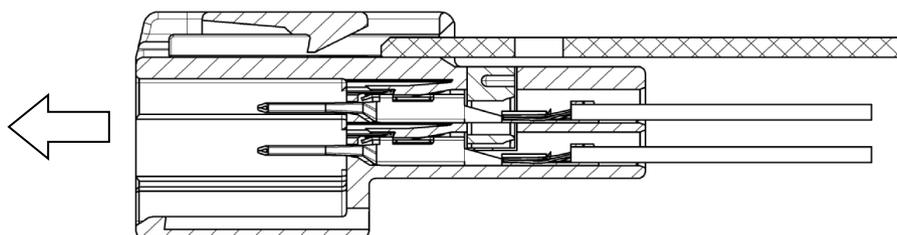
## 8-2. ブラケットの解除方法

- 1) スルーロックをマイナスイドライバー又は治具で押し上げロックを解除して下さい。



DETAIL AL

- 2) スルーロックを押し上げたまま、下図のようにコネクタを矢印方向に引っ張って離脱して下さい。

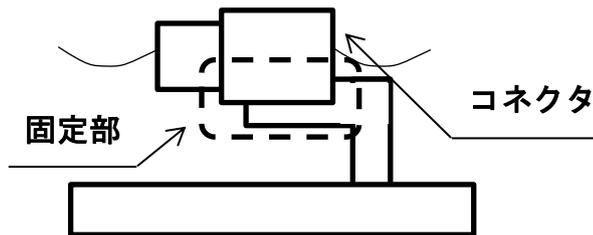


- ・電線を持って離脱しないで下さい。
- ・ロックが解除されていることを確認してから引き抜いて下さい。

# 9. コネクタの車両搭載

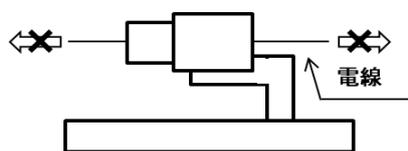
## 9-1. 車両搭載方法

- ・ コネクタを必ず固定して下さい。

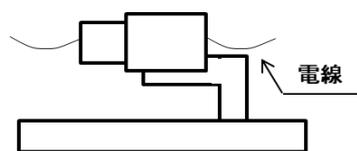


- ・ 電線に張力がかからないようにして下さい。

<NG>



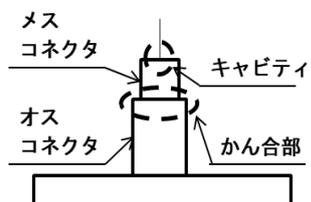
<OK>



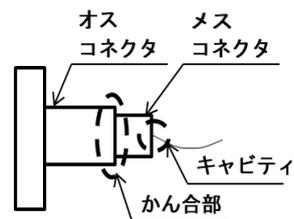
⚠  
注意

- ・ 電線が結露した場合でもコネクタのかん合部、キャビティに水がかからないレイアウトにして下さい。

<NG>

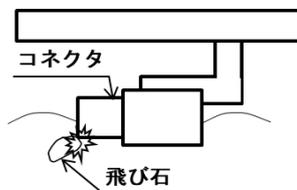


<OK>

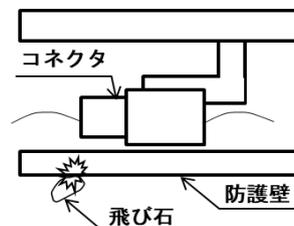


- ・ 飛び石がある部位でコネクタを使用する場合、防護壁等を設けてコネクタを保護して下さい。

<NG>



<OK>



## 品番一覧表 (0.64Ⅱシリーズ)

シリーズ	極数	メス		オス		カセットタイプ
		二重係止	HLC	二重係止	HLC	
0.64Ⅱ	2P	7298-9201	-		-	-
0.64Ⅱ	5P	7283-4576	-	7282-4576	-	9mmタイプ
0.64Ⅱ	6P	7298-1291	-	-	-	-
0.64Ⅱ	6P	7298-1292	-	-	-	-
0.64Ⅱ	10P	7283-4577	-	7282-4577	-	9mmタイプ
0.64Ⅱ	14P	7278-0241	-	-	-	-
0.64Ⅱ	18P	7283-4854	-	7282-4854	-	9mmタイプ
0.64Ⅱ	22P	7298-8296	-	7282-4578	-	17mmタイプ

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】○○○○-○○○○-△△ (○：製品品番、△：色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子については、取扱説明書No.「YPES-15-2030」品番一覧のシリーズが同じものを参照下さい。

## 品番一覧表 (1.5シリーズ)

シリーズ	極数	メス		オス		カセットタイプ
		二重係止	HLC	二重係止	HLC	
1.5	2P	7287-4095	-	7286-4095	-	9mmタイプ
1.5	6P	7287-9323	-	-	-	-
1.5	8P	7287-4097	-	7286-4097	-	9mmタイプ
1.5	8P	7287-8999	-	-	-	-
1.5	8P	7287-9000	-	-	-	-
1.5	12P	7287-1915	-	7286-1915	-	17mmタイプ
1.5	12P	7287-4098	-	7286-4098	-	17mmタイプ
1.5	12P	7287-9001	-	-	-	-
1.5	12P	7289-0596	-	-	-	-

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】 ○○○○-○○○○-△△ (○：製品品番、△：色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子については、取扱説明書No. 「YPES-15-2030」品番一覧のシリーズが同じものを参照下さい。

## 品番一覧表 (2.3Ⅱシリーズ)

シリーズ	極数	メス		オス		カセットタイプ
		二重係止	HLC	二重係止	HLC	
2.3Ⅱ	1P	-	7183-2413	-	-	
2.3Ⅱ	1P	-	7198-5394	7282-1010	-	9mmタイプ
2.3Ⅱ	2P	7283-8123	-	7282-4424	-	9mmタイプ
2.3Ⅱ	2P	7283-7429	-	-	-	-
2.3Ⅱ	2P	-	7183-2415	-	-	-
2.3Ⅱ	2P	7283-1026	7183-6320	7282-1026	-	9mmタイプ
2.3Ⅱ	2P	-	7183-2414	-	7188-3035	-
2.3Ⅱ	2P	-	7189-3037	-	-	-
2.3Ⅱ	3P	7283-1732	-	-	-	-
2.3Ⅱ	3P	-	7183-2418	-	-	-
2.3Ⅱ	4P	7283-1040	7183-2419	7282-1042	-	-
				7282-1641		
2.3Ⅱ	4P	7283-8179	-	-	-	-
2.3Ⅱ	4P	7283-1044	7183-0520	-	-	-
2.3Ⅱ	4P	-	7189-0995	-	7188-0996	-
2.3Ⅱ	4P	-	7189-3297	-	-	-
2.3Ⅱ	5P	7283-1050	-	7282-1157	-	17mmタイプ
2.3Ⅱ	5P	-	7183-6321	-	-	-

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】 ○○○○-○○○○-△△ (○：製品品番、△：色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子については、取扱説明書No. 「YPES-15-2030」品番一覧のシリーズが同じものを参照下さい。

## 品番一覧表 (2.3Ⅱシリーズ)

シリーズ	極数	メス		オス		カセットタイプ
		二重係止	HLC	二重係止	HLC	
2.3Ⅱ	6P	7283-1261	-	-	-	-
2.3Ⅱ	6P	7283-1268	-	-	-	-
2.3Ⅱ	6P	7283-1567	-	-	-	-
2.3Ⅱ	6P	-	7183-0521	-	-	-
2.3Ⅱ	6P	-	7183-6322	-	-	-
2.3Ⅱ	8P	-	7183-2510	-	-	-
2.3Ⅱ	10P	7283-1108	-	-	-	-
2.3Ⅱ	10P	7283-1305	7183-6323	7282-1305	7182-2411	17mmタイプ
2.3Ⅱ	10P	-	7183-0522	-	-	-
2.3Ⅱ	10P	-	7189-3031	-	-	-
2.3Ⅱ	11P	7283-1214	7183-2511	7282-1214	-	17mmタイプ
2.3Ⅱ	12P	7283-1120	-	-	-	-
2.3Ⅱ	12P	-	7183-2416	-	7182-2416	17mmタイプ
2.3Ⅱ	12P	-	7183-2417	-	-	-
2.3Ⅱ	12P	7283-4325	7183-5068	7282-4325	-	17mmタイプ
2.3Ⅱ	13P	7283-1730	7183-2412	7282-1730	7182-2412	17mmタイプ
2.3Ⅱ	16P	7283-1161	-	-	-	-

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】 ○○○○-○○○○-△△ (○：製品品番、△：色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子については、取扱説明書No. 「YPES-15-2030」品番一覧のシリーズが同じものを参照下さい。

## 品番一覧表 (4.8シリーズ)

シリーズ	極数	メス		オス		カセットタイプ
		二重係止	HLC	二重係止	HLC	
4.8	1P	-	7183-1615	-	-	-
4.8	2P	-	7183-1616	-	-	-
4.8	2P	-	7187-6919	-	-	-
4.8	2P	-	7198-6783-40	-	-	-
4.8	4P	7283-8240	-	7282-8240	-	9mmタイプ
4.8	4P	-	7198-6943	-	-	-
4.8	6P	-	7189-3038	-	-	-
4.8	8P	7283-1485	-	-	-	-

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】 ○○○○-○○○○-△△ (○：製品品番、△：色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子については、取扱説明書No. 「YPES-15-2030」品番一覧のシリーズが同じものを参照下さい。

## 品番一覧表 (8.0シリーズ)

シリーズ	極数	メス		オス		カセットタイプ
		二重係止	HLC	二重係止	HLC	
8.0	2P	7283-3027	-	-	-	-
8.0	2P	-	7187-5724	-	-	-
8.0	2P	-	7189-3032	-	-	-
8.0	2P	-	7189-3036	-	-	-
8.0	3P	7283-3033	-	7282-3033	-	17mmタイプ
8.0	3P	-	7189-3033	-	-	-
8.0	4P	7283-3041	-	-	-	-
8.0	4P	7283-3044	-	-	-	-
8.0	4P	7283-3045	-	-	-	-
8.0	4P	7283-3046	-	-	-	-

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】 ○○○○-○○○○-△△ (○：製品品番、△：色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子については、取扱説明書No. 「YPES-15-2030」品番一覧のシリーズが同じものを参照下さい。

## 品番一覧表 (9.5シリーズ)

シリーズ	極数	メス		オス		カセットタイプ
		二重係止	HLC	二重係止	HLC	
9.5	1P	7223-3616	-	-	-	-
9.5	1P	7223-3615	7123-3617	7222-3615	-	17mmタイプ
9.5	1P	-	7187-1237	-	7186-1237	9mmタイプ
9.5	1P	-	7187-1769	-	-	-
9.5	2P	7283-3320	-	-	-	-

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】 ○○○○-○○○○-△△ (○：製品品番、△：色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子については、取扱説明書No. 「YPES-15-2130」品番一覧のシリーズが同じものを参照下さい。

## 品番一覧表 (HYBRIDシリーズ)

シリーズ	極数	シリーズ	極数	メス		オス		カセットタイプ
				二重係止	HLC	二重係止	HLC	
0.64 II	8P	1.5	10P	7287-3885	-	7286-3885	-	17mmタイプ
0.64 II	9P	1.5	4P	7287-1916	-	7286-1916	-	17mmタイプ
0.64 II	16P	1.5	4P	7287-1917	-	7286-1917	-	17mmタイプ
0.64 II	22P	1.5	4P	7287-1918	-	7286-1918	-	17mmタイプ
0.64 II	9P	2.3 II	4P	7283-4856	-	7282-4856	-	9mmタイプ
0.64 II	10P	2.3 II	8P	7283-4579	-	7282-4579	-	17mmタイプ
				7287-8072		7288-3206		
0.64 II	16P	2.3 II	4P	7283-9391	-	7282-9391	-	17mmタイプ
				7287-8073				
0.64 II	21P	2.3 II	4P	7283-4855	-	7282-4855	-	17mmタイプ
0.64 II	12P	4.8	1P	7287-6917	-	-	-	-
2.3 II	2P	4.8	2P	7283-1144	-	-	-	-
2.3 II	4P	4.8	4P	7283-1785	-	-	-	-
2.3 II	8P	4.8	2P	-	7189-7039	7282-1405	-	17mmタイプ
2.3 II	4P	4.8	4P	-	7189-9116	-	-	-
2.3 II	4P	8.0	2P	-	7189-3034	-	-	-
4.8	1P	8.0	2P	-	7198-4980	-	-	-

注1) 本品番一覧表では代表色の品番を記載しておりますが、その他の色でも取扱方法については同様です。

【品番定義】 ○○○○-○○○○-△△ (○：製品品番、△：色コード)

注2) 上記コネクタに使用可能な端子については、取扱説明書No. 「YPES-15-2030」品番一覧のシリーズが同じものを参照下さい。